



## 三菱 HEMS

形 名 HM-GW03 HM-ST03-E HM-ST03-W

### 据付工事説明書 **基本編** 販売店・工事店様用

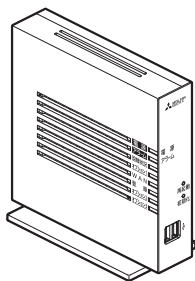
この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。

この据付工事説明書は、据付工事に関わるシステムの設定について記載しております。システムの設定をする前に、この据付工事説明書を必ずお読みください。

この説明書に記載されていない方法や保証書と適合しない内容で工事された場合、また当社指定部品を使用せず工事された場合、事故や故障が生じたときには責任を負いかねます。

システム構成機器の据付けについては、各機器の据付工事説明書をご覧ください。

<HM-ST03-E HM-ST03-W セット構成>



情報収集ユニット  
(HM-GW03)



エネルギー計測ユニット  
(HM-EM03-E  
HM-EM03-W)

※情報収集ユニット単体、またはエネルギー計測ユニットの代わりとして計測機能内蔵型分電盤（ホーム分電盤）との構成でも使用できます。

- 据付工事説明書は予告なしで変更する場合があります。  
最新の据付工事説明書については、下記のホームページをご覧ください。  
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/hems>

この製品は国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。  
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.  
No servicing is available outside of Japan.

# もくじ

概要	基本編	詳細編
システム概要図	4	4
据付工事 全体の流れ	6	6
HEMSシステム 手配図と接続先図	8	8
HEMSシステム結線図1：エネルギー計測ユニット	10	10
HEMSシステム結線図2：計測機能内蔵型分電盤（ホーム分電盤）	12	12
HEMSシステム結線図3：エネルギー計測ユニットとEV用パワーコンディショナ	14	14
HEMSシステム結線図4：計測機能内蔵型分電盤（ホーム分電盤）と太陽光発電システム用計測ユニット（IFU）	16	16
HEMSシステム結線図5：エネルギー計測ユニットと太陽光発電システム用計測ユニット（IFU）	18	18
HEMSシステム結線図6：計測機能内蔵型分電盤（ホーム分電盤）とオムロンハイブリッド蓄電システム（1次送り）	20	20
HEMSシステム結線図7：計測機能内蔵型分電盤（ホーム分電盤）とオムロンハイブリッド蓄電システム（2次送り）	22	22
HEMSシステム結線図8：太陽光発電・EV・蓄電池連携システム	24	24
エネルギー計測機器仕様とエネルギー計測機器併設早見表	26	26

設置ツールの設定準備	基本編	詳細編
設置ツールの設定を行う前の準備	10	29
HEMSと接続する機器の準備	14	33
タブレット端末、スマートフォンと情報収集ユニットの接続	18	37
パソコンと情報収集ユニットの接続	21	40

ログイン	基本編	詳細編
設置ツールへのログイン方法	22	41
スマートフォンでログインする	24	43
タブレット端末やパソコンでログインする	26	45
設置ツール画面の見かた	28	47

システムに関する設定	基本編	詳細編
時刻設定	30	49
システム設定	32	51

機器の接続・設定	基本編	詳細編
機器の設置方法／接続機器台数／接続機器詳細設定要否	34	53
設置ツール上の機器名称	36	55
機器接続と登録	38	57
機器接続確認	47	66
機器オプション設定	69	69
スマートメーター設定	70	70

エネルギー計測に関する設定	基本編	詳細編
エネルギー計測機器の設定	50	73
ハイブリッド蓄電システム設定	88	88
エネマネ設定	65	90
グラフ表示設定	68	93

引渡確認	基本編	詳細編
リセット設定	70	95
アプリ起動	71	96
据付後の確認	73	98

## その他の設定

基本編 詳細編

簡易間取り設定 .....	99
空気循環連動設定 .....	102
ホーム分電盤データ登録 .....	104
クラウド接続確認 .....	74.. 106
チェックリスト .....	107

## 対処

基本編 詳細編

こんなときは .....	75.. 108
--------------	----------

## 付録

基本編 詳細編

仕様 .....	79.. 112
太陽光発電との連携制御まとめ（お天気リンクAIを含む） .....	113

## 修理ツール

基本編 詳細編

修理ツールへのログイン .....	116
不具合機器一覧 .....	117
エラー表示 .....	123
ログ表示 動作ログ .....	125
機器交換・削除・位置確認 .....	126
タブレットアプリ/スマートフォンアプリのログイン情報初期化 .....	131

三菱HEMSの「取扱説明書」と「据付工事説明書」の詳細編および、「技術・工事マニュアル」は、下記サイトから、最新バージョンをダウンロードをお願いいたします。

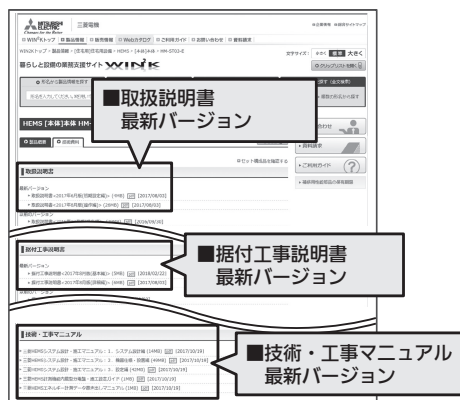
暮らしと設備の業務支援サイト「WIN2K」



HEMS HM-ST03-E、-W 技術資料ページ



<http://www.mitsubishielectric.co.jp/dg/wink/displayProductTec.do?pid=251662&ccd=105020&mcid=SUETSUKE#SUETSUKE>



概要

準備

ログイン

システム

機器設定

エネルギー計測

引渡確認

その他設定

対処

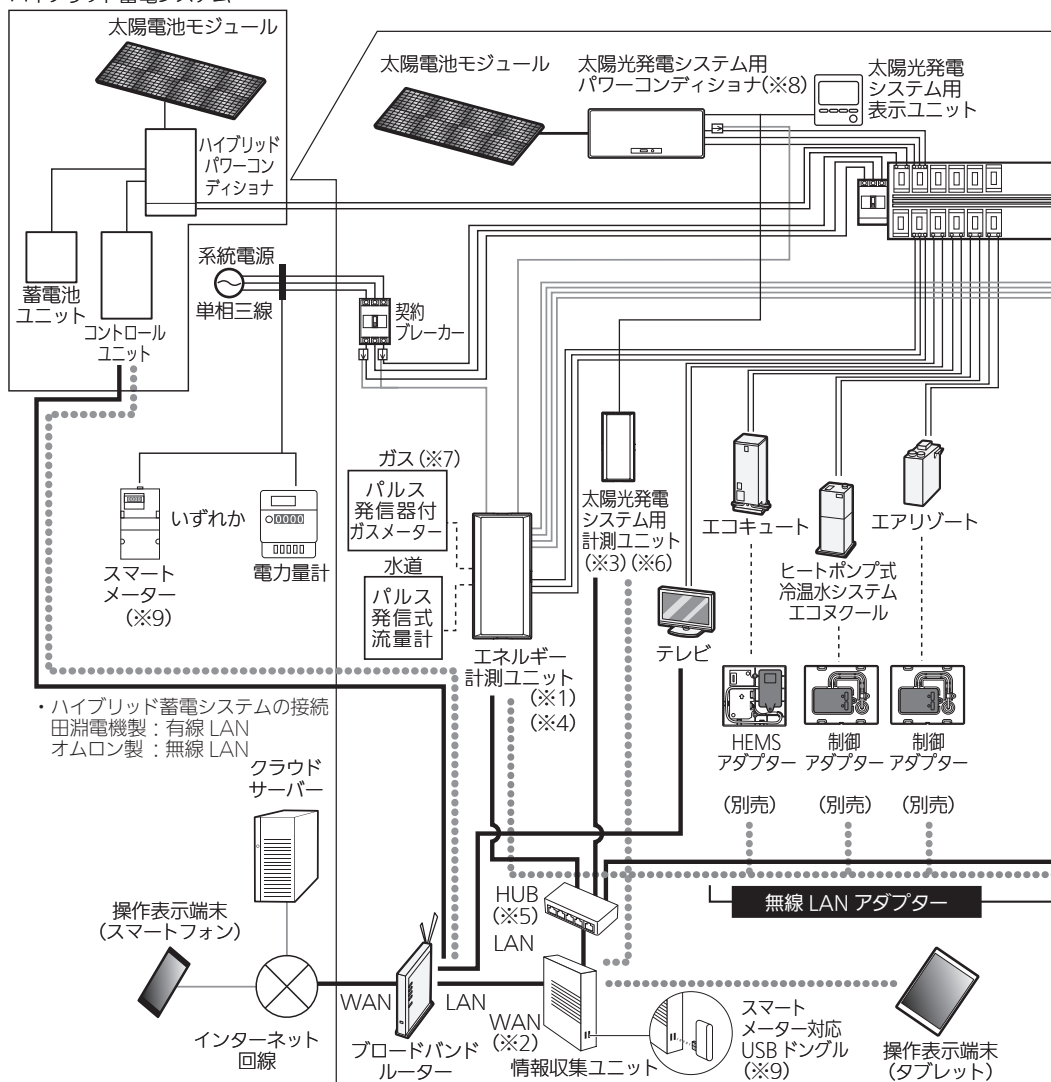
付録

# 概要

## システム概要図

### ■ 構成例

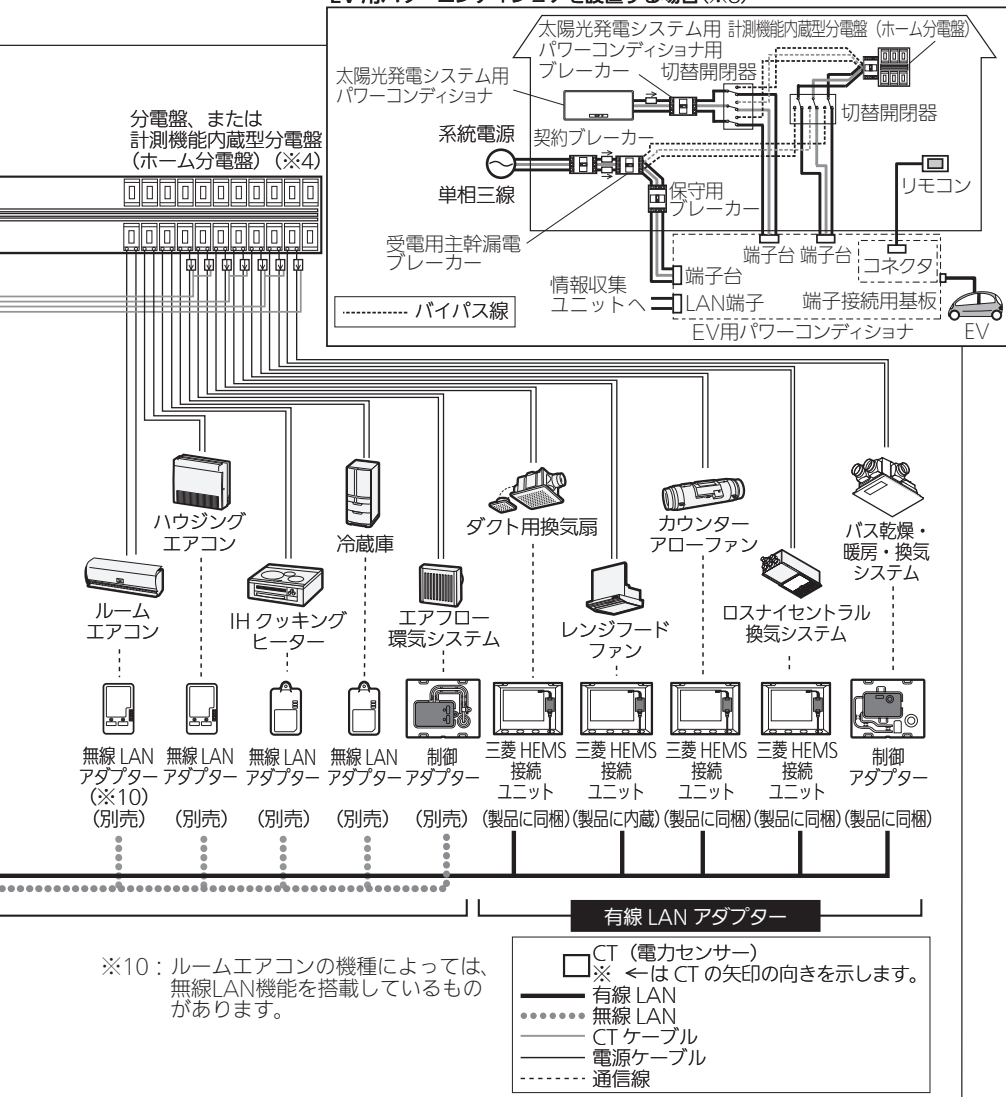
#### ハイブリッド蓄電システム



- ※1：有線LAN対応機種(HM-EM03-E)と無線LAN対応機種(HM-EM03-W)があります。  
情報収集ユニットとの接続には、設置環境に応じて、どちらかを選択してください。
- ※2：情報収集ユニットとブロードバンドルーターを接続するときは、情報収集ユニットのWANポートとブロードバンドルーターのLANポートをLANケーブルで接続してください。
- ※3：太陽光発電システム用計測ユニットは有線接続用と無線接続用の2種類があります。  
情報収集ユニットとの接続には、設置環境に応じて、どちらかを選択してください。
- ※4：計測機能内蔵型分電盤(ホーム分電盤)使用時は、エネルギー計測ユニットは併設できません。
- ※5：有線LANの接続が、情報収集ユニットの有線LANの口数(4口)で足りる場合は、HUBは不要です。

他社製機器との接続方法については、HEMSシステム 手配図(→8ページ)をご確認ください。

### EV 用パワーコンディショナを設置する場合(※8)



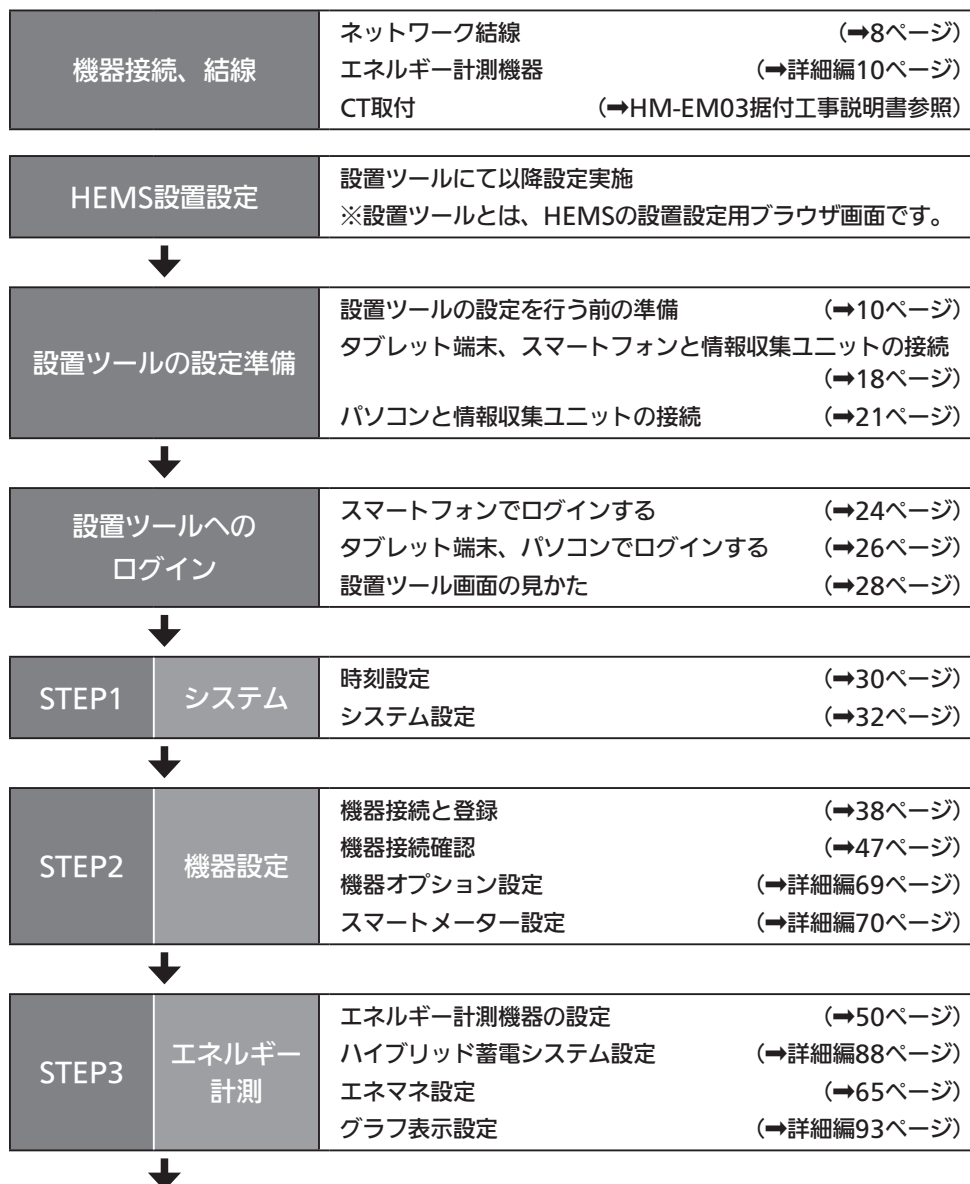
※6: 本構成は、PV-DR006Lシリーズを使用した場合の構成です。それ以外の構成については、太陽光発電の計測は、CTでの計測となります。

※7: 別途メーターの設置(有償)が必要となる場合があります。ガスと水道は、エネルギー計測ユニット、または計測機能内蔵型分電盤(ホーム分電盤)のどちらかに接続します。

※8: 太陽光発電システム用パワーコンディショナとEV用パワーコンディショナを併設される場合は、エネマ設定(→65ページ)を確認してください。

※9: スマートメーターをHEMSに接続するには、スマートメーター対応USB Dongle(形名: HM-DG01-S、別売)が必要です。

## 据付工事 全体の流れ



STEP4	引渡確認	リセット設定 アプリ起動	(⇒70ページ) (⇒71ページ)
-------	------	-----------------	----------------------

動作確認	
------	--

その他設定	簡易間取り設定 空気循環連動設定 ホーム分電盤データ登録 クラウド接続確認 チェックリスト	(⇒詳細編99ページ) (⇒詳細編102ページ) (⇒詳細編104ページ) (⇒74ページ) (⇒詳細編107ページ)
-------	---	---

### 詳細編に記載されている項目について

以下の項目は詳細編に記載されています。詳細編のダウンロード方法は3ページを参照してください。

- HEMSシステム結線図
- エネルギー計測機器仕様とエネルギー計測機器併設早見表
- 機器オプション設定  
エアフロー環気システムについての初期設定を行います。
- スマートメーター設定  
スマートメーター対応USB dongleを接続している場合に設定します。
- ハイブリッド蓄電システム設定  
オムロン株式会社のハイブリッド蓄電システムを接続している場合に設定します。
- 簡易間取り設定  
接続された機器を、あらかじめ設定した間取りに割り付けます。
- 空気循環連動設定  
空気循環連動に対応するエアコンと送風機の関連付けを行います。
- ホーム分電盤データ登録  
「ホーム分電盤設定ファイル」を使用してホーム分電盤の設定を行います。
- チェックリスト  
設置ツールの各設定の設定状況および更新日時、異常機器の有無を確認します。
- 太陽光発電との連携制御まとめ
- 修理ツール  
不具合の確認や機器交換・削除、アプリのログイン情報初期化などを行います。

## HEMSシステム 手配図と接続先図

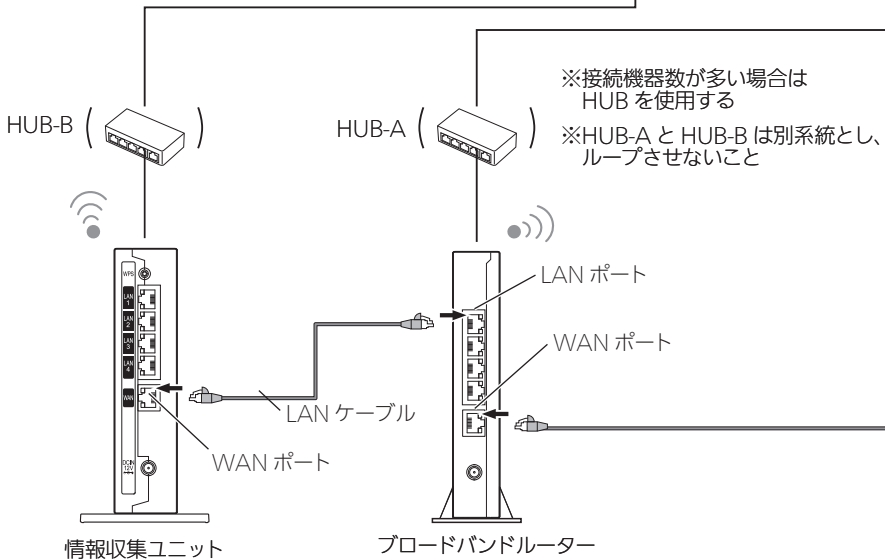
### 情報収集ユニットと無線 LAN で接続する機器

- ・三菱電機ルームエアコン (※1)
- ・三菱電機ハウジングエアコン
- ・三菱電機エコキュート
- ・三菱電機ヒートポンプ式冷温水システム  
エコヌクール
- ・三菱電機エアリゾート
- ・三菱電機 IH クッキングヒーター
- ・三菱電機冷蔵庫
- ・三菱電機エアフロー環気システム
- ・三菱電機エネルギー計測ユニット  
HM-EM03-W
- ・三菱電機太陽光発電システム用計測ユニット  
PV-DR006L-M



### 情報収集ユニットと有線 LAN で接続する機器

- ・三菱電機ロスナイセントラル換気システム
- ・三菱電機ダクト用換気扇
- ・三菱電機カウンターアローファン
- ・三菱電機レンジフードファン
- ・三菱電機バス乾燥・暖房・換気システム
- ・三菱電機エネルギー計測ユニット HM-EM03-E
- ・三菱電機太陽光発電システム用計測ユニット  
PV-DR006L-Y
- ・三菱電機 EV 用パワーコンディショナ
- ・文化シャッター 電動窓シャッター  
(ワイヤレス通信機 SCX1501 (A)、(B))



(※1) 三菱ルームエアコン（無線 LAN 機能搭載モデル）で HEMS と霧ヶ峰 REMOTE を併用する場合は、ブロードバンドルーターと無線 LAN 接続してください。  
無線 LAN 機能搭載モデルは 2019 年 11 月以降発売の 2020 年モデルの FZ シリーズ、Z シリーズなどになります。  
詳細は下記の三菱ルームエアコン霧ヶ峰のホームページを参照してください。  
<https://www.mitsubishielectric.co.jp/home/kirigamine/>



これらの機器を接続する場合は、必ずブロードバンドルーターを手配ください。

#### ブロードバンドルーターに 有線 LAN で接続する機器 (※3)

- ・三菱電機液晶テレビ
- ・河村電器産業計測機能内蔵型分電盤  
(ホーム分電盤)
- ・田淵電機蓄電ハイブリッドシステム  
(専用カラーリモコン)
- ・パナソニック照明スイッチ  
(アドバンスシリーズ用無線アダプタ)
- ・パナソニック エコキュート、  
パナソニック エアコン  
(無線ゲートウェイ / メディアコンバーター)
- ・文化シャッター 電動窓シャッター  
(ワイヤレス通信機 2 SCX1801)
- ・コイズミ照明スマートスイッチ、メモリー  
ライトコントローラ (スマートアダプタ)
- ・ノーリツ ガス機器  
(ECHONET Lite 通信アダプタ) (※4)
- ・オムロンフレキシブル蓄電システム  
(リモートコントローラ)

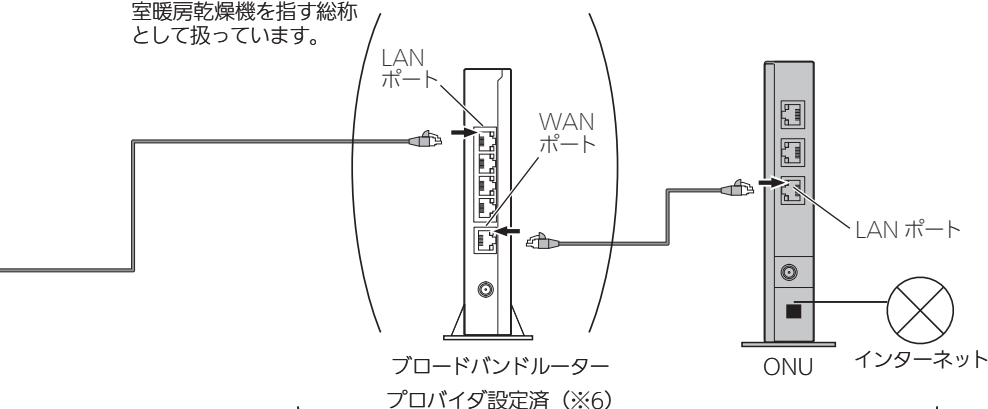
#### ブロードバンドルーターに 無線 LAN で接続する機器

- ・オムロンハイブリッド蓄電システム  
(計測・操作ユニット) (※2)
  - ・ダイキンエアコン用無線 LAN 接続アダプター
  - ・パナソニック エアコン 無線 LAN 内蔵モデル
  - ・三協立山電気錠付きドア、電動シャッター  
(大和電器エコーネットライトアダプタ) (※5)
  - ・ノーリツ ガス機器  
(ECHONET Lite 通信対応の台所リモコン)
- (※2) カラー表示ユニットと計測ユニット  
の両方をブロードバンドルーターに  
無線接続してください。
- (※5) エコーネットライトアダプタ付属の  
取り扱い説明書に従い、接続する機器  
(電気錠、電動シャッター) に応じた  
ディップスイッチ設定を行ってください。



(※4) ガス機器は、ガス給湯器  
(家庭用燃料電池併設を  
含む) およびその給湯器  
と接続される床暖房、浴  
室暖房乾燥機を指す総称  
として扱っています。

(※3) 情報収集ユニットからブロードバンドルーターに有線 LAN の  
接続を変更したときは、機器側のコンセント抜き差しまたは  
ブレーカーの切 / 入で再起動してください。  
再起動が難しい「田淵電機蓄電ハイブリッドシステム」は、  
メーカー取扱説明書に従って IP アドレスの取得 (DHCP) を  
行ってください。



#### エンドユーザー様手配

(※6) 販売店・工事店様手配ブロードバンドルーターを  
ユーザー様にてプロバイダ設定される場合は不要

# 設置ツールの設定準備

## 設置ツールの設定を行う前の準備



### 警告

システム構成機器の据付けについては、各機器の据付工事説明書に記載されている「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、据付手順に従って据付けを行ってください。

- 電源電線の接続は確実にを行う  
接続部が過熱して発火する原因になります。
- 配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って電気工事士の資格者が安全・確実に  
行う  
接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因になります。

システムの設定を行う前に、以下の項目について確認してください。

#### □ システム設定に必要なもの

##### <端末>

1～3のいずれか

- 1.Android™スマートフォンまたはiPhone®(以下、総称として「スマートフォン」とする)
  - ・OSバージョン：Android4.4.\*以上、iOS®11以上
- 2.AndroidタブレットまたはiPad®(以下、総称として「タブレット端末」とする)
  - ・OSバージョン：Android4.4.\*以上、iOS®11以上
- 3.Windows™パソコン
  - ・接続用のストレートタイプのLANケーブル(CAT5e以上)

##### <推奨ブラウザ>

Android：Google Chrome™

iOS：Safari®

Windows/パソコン：Google Chrome、Internet Explorer™ 11

※スマートフォンやタブレット端末によっては、画面が正常に表示されないことがあります。

- タブレット端末、またはスマートフォンに三菱HEMSアプリがインストールされていること。

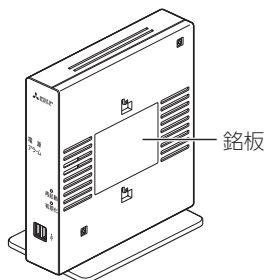
※ 動作確認を行う際にタブレット端末、またはスマートフォンが必要となります。

※ 三菱HEMSアプリのインストール方法は「取扱説明書 初期設定編」を参照してください。

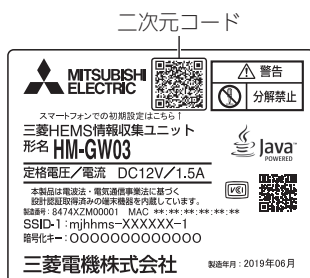
※ 以下の二次元コードを読み込むとスマートフォンアプリのインストール方法を紹介するWebページに繋がります。同じ二次元コードが情報収集ユニット銘板にも記載されています。



<http://www.mitsubishielectric.co.jp/home/hems/appsetup.html>



情報収集ユニット



- 各機器および有線LANアダプター/無線LANアダプター(HEMS用)が正しく据え付けられていること。

※ 詳しくは、各機器の据付工事説明書をご覧ください。

- 三菱電機太陽光発電システム用計測ユニット(PV-DR006Lシリーズ)を接続する場合は、先に太陽光発電システム用計測ユニット(PV-DR006Lシリーズ)の設定が完了していること。運用種別の設定を「ネットワークあり」に設定していること。

※ 太陽光発電システム用計測ユニットの設定は、三菱電機太陽光発電システム カラーモニター エコガイドの据付工事説明書、取扱説明書を参照してください。

- 三菱電機エコキュートを接続する場合は、先にエコキュートの試運転が完了していること。台所用リモコンから、外部接続を「有効」に設定していること。

※ 詳細は、エコキュートの据付工事説明書、取扱説明書を参照してください。

- 三菱電機液晶テレビを接続する場合は、液晶テレビの時刻設定がされていること。テレビリモコンから「家電連携設定」を「入(操作あり)」に設定していること。

※ 詳細は液晶テレビの取扱説明書(家電連携・HEMS編)を参照してください。

- 三菱電機EV用パワーコンディショナを接続する場合は、EV用パワーコンディショナのリモコンからLAN接続設定を「有効」、HEMS機種種別を「自社HEMS(三菱電機)」に設定していること。

※ 詳細はEV用パワーコンディショナの設定の据付工事説明書を参照してください。

## 設置ツールの設定準備 (つづき)

- 三菱電機ロスナイセントラル換気システムを接続する場合は、施工されている遠隔操作スイッチ(壁面に設置)がONになっていること。  
三菱HEMS接続ユニット内にある有線LANアダプターのLEDが点灯している(ONになっている)こと。  
遠隔操作での排気停止「あり/なし」等の初期設定をしていること。  
複数接続する場合はアドレス設定(1~7)をしていること。  
※ 詳しくは、ロスナイセントラル換気システムの据付工事説明書をご覧ください。
- 三菱電機カウンターアローファンを接続する場合は、施工されている遠隔操作有効スイッチ(壁面に設置)を「入」にしていること。  
三菱HEMS接続ユニット内にある有線LANアダプターのLEDが点灯している(ONになっている)こと。  
用途(換気用/空気搬送用)等を設定していること。  
複数接続する場合はアドレス設定(1~7)をしていること。  
※ 詳しくは、カウンターアローファンの据付工事説明書をご覧ください。
- 三菱電機ダクト用換気扇を接続する場合は、施工されている遠隔操作スイッチ(壁面に設置)がONになっていること。  
三菱HEMS接続ユニット内にある有線LANアダプターのLEDが点灯している(ONになっている)こと。  
24時間換気「あり/なし」等の初期設定をしていること。  
同形名の製品を複数接続する場合はアドレス設定(1~7)をしていること。  
※ 詳しくは、ダクト用換気扇の据付工事説明書をご覧ください。
- レンジフードファンを接続する場合は、レンジフードファン本体の遠隔操作有効スイッチを「入」にしていること。  
三菱HEMS接続ユニット内にある有線LANアダプターのLEDが点灯している(ONになっている)こと。  
複数接続する場合はアドレス設定(1~7)をしていること。  
※ 詳しくは、レンジフードファンの据付工事説明書をご覧ください。
- バス乾燥・暖房・換気システムを接続する場合は、壁付けした制御アダプター内にある有線LANアダプターのLEDが点灯している(ONになっている)こと。  
※ 詳しくは、バス乾燥・暖房・換気システムの据付工事説明書をご覧ください。
- 三菱電機ヒートポンプ式冷温水システム エコヌクールを接続する場合は、先にエコヌクールの試運転が完了していること。

- Android™、Google Chrome™は、Google LLCの商標または登録商標です。
- Internet ExplorerおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Wi-FiおよびWPSは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- 「エコネット」、「ECHONET」、「ECHONET Lite」はエコネットコンソーシアムの商標です。
- iPad®、iPhone®は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。TM and © 2018 Apple Inc. All rights reserved.
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- iOS®の商標は、Ciscoの米国およびその他の国々のライセンスに基づき使用されています。
- Safari®は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

HEMSと接続する機器の準備

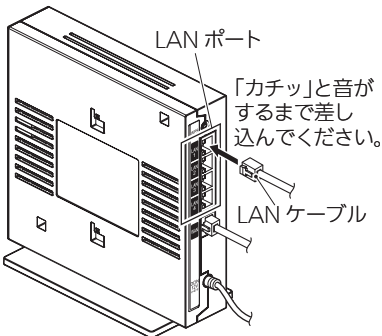
■ LANケーブルで機器を接続し登録する場合

LANケーブルで接続できる機器は、システム概要図をご覧ください。  
(→4～5ページ)

- 必要な長さのLANケーブルをご用意ください。ストレートタイプのケーブルを使用してください。(カテゴリ：5e以上)
- 情報収集ユニットおよび各機器の電源を入れてください。

1 情報収集ユニットのLANポートに  
LANケーブルを差し込む

- LANケーブルで接続する機器が4台以上ある場合は、HUBを使用してください。(IGMP非対応のHUBを使用してください)
- 一番下のWANポートには接続しないでください。



情報収集ユニット

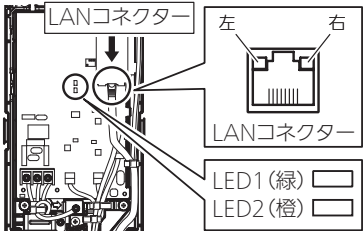
2 各機器にLANケーブルを接続する

<ランプ表示の一覧>

エネルギー計測ユニット(HM-EM03-E)と有線LAN基板のLANコネクターのランプ表示は、次のようになります。

【エネルギー計測ユニット(HM-EM03-E)のLANコネクター】

状態	左	右
LANケーブル非接続	消灯	消灯
LAN通信開始前	緑色に点灯	消灯
LAN通信時	緑色に点灯	橙色に点灯



エネルギー計測ユニット

【エネルギー計測ユニットのLED】

状態	LED1(緑)
有線LAN基板通信時	正常時、約1秒ごとに点滅。

## 【三菱電機製各機器の有線LANアダプター(エネルギー計測ユニット、液晶テレビ以外)】

状態	D705	D704	D703
LAN通信開始前	消灯	消灯	緑色に点滅(5秒に1回)
LANケーブル非接続	消灯	橙色に点灯	緑色に点滅(5秒に1回)
LAN通信異常	消灯	消灯	緑色に点滅(5秒に1回)
機器異常	—	消灯	消灯
通常時	緑色に点滅(5秒に1回) <sup>※1</sup>	消灯	緑色に点滅(5秒に1回)

※1：2回連続して点滅

●有線LANアダプターのランプ表示位置(➡16ページ)

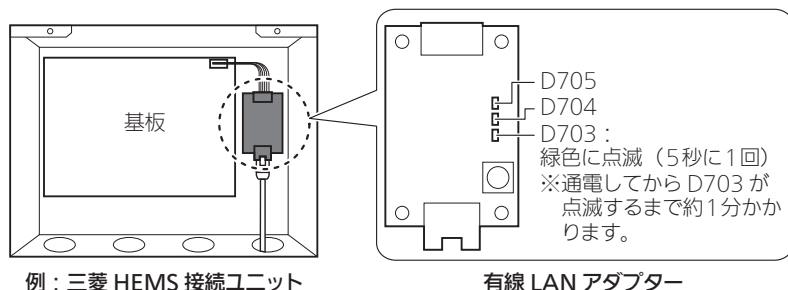
## おしらせ

- 情報収集ユニットのWANポートには接続しないでください。
- 情報収集ユニットのLANポートには、三菱HEMSの各機器以外は接続しないでください。接続した場合、三菱HEMSアプリおよびHEMS・各機器の動作に支障をきたすことがあります。
- テレビはブロードバンドルーターに接続してください。
- テレビと情報収集ユニットを接続するときは、テレビ背面の「LAN1端子」と情報収集ユニットに接続されたブロードバンドルーターのLANポートにLANケーブルを接続してください。
- テレビを接続するときは、以下のように設定してください。
  - ・テレビのメニュー「設定」→「機能設定」→「家電連携設定」で「家電連携制御」を「入(操作あり)」または「入(操作なし)」にします。
  - ※設定すると、自動的に情報収集ユニットに接続してメニューが終了します。その後、「機能設定」メニューを表示すると、「家電連携設定」は「HEMS設定」という名称に切り替わります。
  - ・デジタル放送のアンテナを接続していないときは、テレビのメニュー「設定」→「初期設定」→「時刻設定」で現在時刻を設定します。一部の機種では設定できません。
- テレビで使用するIPアドレスはDHCPで自動設定されますので、DHCPでIPアドレスを取得できるようにテレビで設定してください。
- 情報収集ユニットの電源が切れたときや再起動されたあと、有線LANアダプター接続機器がHUBなどを經由して接続されている場合は、通信が不安定になることがあります。
 

情報収集ユニットを再起動したときは、情報収集ユニット再起動後にHUBなどの機器を再起動してください。
- 有線LANアダプターは、IGMP Snooping対応HUBとは接続できません。IGMP Snooping非対応のHUBを使用、もしくはIGMP Snoopingを無効にしてください。
- EV用パワーコンディショナを認識できないときは、LANケーブルを接続後、情報収集ユニットを再起動してください。
- 電動窓シャッターのワイヤレス通信機は型名により接続先が異なります。「HEMSシステム手配図」(➡8ページ)をご確認ください。接続後はワイヤレス通信機を再起動してください。(ワイヤレス通信機背面のスイッチが有線LANに設定されていることをご確認のうえで接続してください。)ワイヤレス通信機のWPSボタンは使用しないでください。
- ワイヤレス通信機に登録されている電動窓シャッターは、ワイヤレス通信機と情報収集ユニットを接続することで、自動的に機器登録されます。

## 設置ツールの設定準備 (つづき)

- 各機器の有線LANアダプターのランプが、以下のとおりに点滅していること  
(エネルギー計測ユニットは除く)



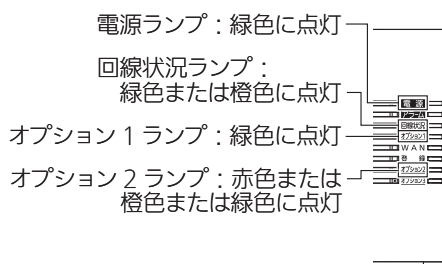
※ 詳しくは、＜ランプ表示の一覧＞(⇒14～15ページ)をご覧ください。

※ バス乾燥・暖房・換気システム用制御アダプターの場合は、カバーの窓からLEDの状態を確認できます。ただし、D705/D704/D703は、ランプ3/ランプ2/ランプ1になります。

※ 三菱HEMS接続ユニットの場合は、基板の上にカバーが付きます。

## ■ 無線LANで機器を接続し登録する場合

- 情報収集ユニットに電源アダプターのコードを接続し、電源アダプター(電源プラグ)を電源コンセントに接続し、電源を入れる  
情報収集ユニットや各機器の無線LANアダプター(HEMS用)のランプが、以下の状態になってから次ステップに進む(以下の状態になるまで待つ)
- 情報収集ユニット：オプション1ランプが緑色に点灯(通電してからオプション1ランプが点灯するまで約10～15分かかります)してから次ステップに進む



※ 詳しくは、＜ランプ表示の一覧＞(⇒43ページ)や情報収集ユニットの取扱説明書をご覧ください。

※ 回線状況ランプが赤色に点灯する場合は、「こんなときは」をご覧ください。  
(⇒75ページ)

※ 電源を入れたあと、ソフトウェアの自動更新が開始(オプション3ランプが青点滅し、アラームランプが赤点灯)される場合があります。ソフトウェアの自動更新が完了(オプション3ランプが青点灯し、アラームランプが消灯)するまで電源を切らないでください。



- 無線LANアダプター(HEMS用) : ランプ1消灯、ランプ2消灯、ランプ3点滅(工場出荷状態から初めて起動すると約3分かかります)してから次ステップに進んでください

※機器によっては仕様が異なることがあります。



ランプ3 :  
緑色に点滅 (5秒に1回)

※通電してからランプ3が点滅するまで約3分かかります。  
ランプ1、2、3が同時に点滅しているとき(初期化中)には、電源を切らないでください。  
3分以上ランプ1、2、3同時点滅が続く場合は無線LANアダプターの故障の可能性があります。

※詳しくは、<ランプ表示の一覧>(➡43ページ)や情報収集ユニットの取扱説明書をご覧ください。

※IHクッキングヒーターを据え付けたときは、ランプ表示の確認方法が異なります。  
詳しくは、IHクッキングヒーター用無線LANアダプターの取扱説明書をご覧ください。

三菱ルームエアコン(無線LAN機能搭載モデル)との接続についての詳細は、三菱ルームエアコンの取扱説明書及び据付工事説明書を参照してください。

#### ●三菱ルームエアコン(無線LAN機能搭載モデル)と接続する場合の注意

情報収集ユニットまたはブロードバンドルーターをインターネットに接続せずに使用した場合や、霧ヶ峰REMOTEアプリにて宅外操作設定を「有効」にしていない場合、約30分ごとに30秒ほど、操作ができない場合があります。情報収集ユニットをインターネットに接続している場合は発生しません。

作業中は、複数台のパソコン・タブレット端末から操作しないでください。  
また、お客様にもアプリをご使用にならないようにご注意ください。

### タブレット端末、スマートフォンと情報収集ユニットの接続

タブレット端末、またはスマートフォン(Android OS・iOS)で設定するときは、以下の方法で通信設定を行ってください。

※タブレット端末、スマートフォンにより、表示が異なることがあります。

#### ■ Android OS

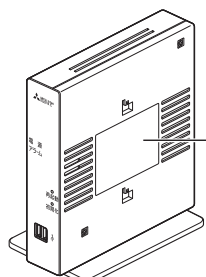
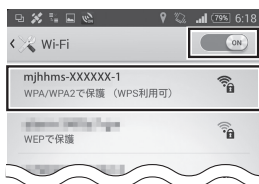
##### 1 「設定」画面を開き、「Wi-Fi」をタップする



●「設定」画面の開きかたは、お使いのタブレット端末またはスマートフォンの取扱説明書をご参照ください。

- WPS機能を使用して接続する場合は、次ページの「タブレット端末やスマートフォンにWPS機能がある場合」をご参照ください。なお、Androidバージョン9.0はWPS機能はありません。

##### 2 「Wi-Fi」を「ON」にし、情報収集ユニットの铭板に表示されているSSIDと同じネットワーク名をタップする

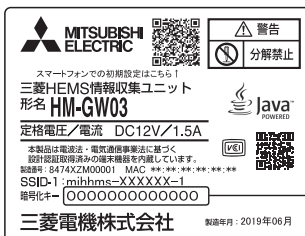


情報収集ユニット



SSID

### 3 パスワード欄に、情報収集ユニットの銘板に表示されている暗号化キーを英数半角で入力し、「接続」をタップする



パスワード  
(暗号化キー)

- 接続が完了するとネットワーク名の下に「接続されました」と表示され、画面上部のステータスバーにWi-Fiアイコン(📶)が表示されます。



#### —— タブレット端末やスマートフォンにWPS機能がある場合 ——

WPS機能を使用して情報収集ユニットとWi-Fi接続することができます。

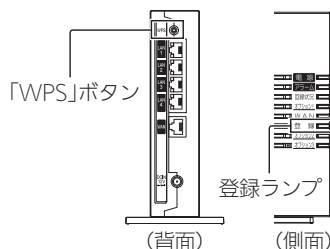
### 2 「Wi-Fi」を「ON」にし、情報収集ユニットの銘板に表示されているSSIDと同じネットワーク名があることを確認して画面上の「WPS」ボタン(🔗)をタップする



- Androidバージョンによって「WPS」ボタンの位置が異なります。詳細はお使いのタブレット端末やスマートフォンの取扱説明書をご参照ください。

### 3 情報収集ユニットの「WPS」ボタンを1秒以上押す

- 側面の登録ランプが橙色に点滅します。  
お使いのタブレット端末やスマートフォンの画面で接続が完了したことを確認してください。




The diagram illustrates the first step of the process. On the left, the '設定' (Settings) app icon is shown on a home screen. An arrow points from the text '設定' to this icon. A large grey arrow points from the Settings icon to the right, leading to the next screen. On the right, the 'Wi-Fi' settings screen is displayed, showing the 'Wi-Fi' toggle switch turned on.

The screenshot shows the 'Wi-Fi' settings page in an iPhone's Settings app. At the top, the status bar displays the time '14:25'. The 'Wi-Fi' toggle switch is turned on. Below it, the section 'ネットワークを選択' (Select Network) is active, showing a list of available networks. The first network, 'mjhfhms-xxxxxx-1', is selected and has a checkmark next to it. To the right of this network name are icons for signal strength, Wi-Fi, and a settings icon. Below the selected network is an option 'その他...' (Other...) with a right-pointing arrow. At the bottom of the screen, there is a '接続を確認' (Check Connection) button with a toggle switch that is turned on.


- Wi-Fi アイコン





- 
- A line drawing of the back of the device. It shows a power switch on the right side, indicated by a line pointing to it from the right. The switch is a small rectangular button with a power symbol. There are also ventilation grilles on the left and top of the device.



**MITSUBISHI  
ELECTRIC**




 **警告**


 **分解禁止**

スマートフォンでの初期設定はこちら！

**三菱HEMS情報収集ユニット**

**形名 HM-GW03**





**Wi-Fi**

**定格電圧／電流 DC12V／1.5A**

＊本製品は電圧変動、電流変動に強く設計  
設計仕様範囲外の過電流使用をしないでください。

製造番号 8474XDM00001 MAC 00:00:00:00:00:00 ※※※※※※※※※※

SSID-1 mihhms-XXXXXX-1

暗号化形式 00000000000000000000

**三菱電機株式会社**

販売年月：2019年06月

パスワード

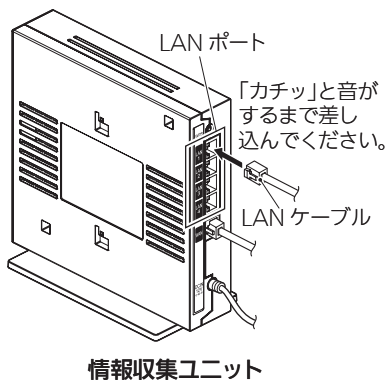
- スマートフォンが3G/LTEなどの外部公衆回線に接続されて、情報収集ユニットに無線LAN接続できない場合、「(モバイル)データ通信をオフに設定」するか、「機内モードに設定した後、再度、Wi-Fi接続」することで改善されることがあります。

## パソコンと情報収集ユニットの接続

パソコン(LANケーブルによる接続)で設定するときは、以下の方法で通信設定を行ってください。

- 必要な長さのLANケーブルをご用意ください。ストレートタイプのケーブルを使用してください。(カテゴリ：5e以上)

### 1 情報収集ユニットのLANポートにLANケーブルを差し込む



### 2 パソコンにLANケーブルを接続する

#### おしらせ

- パソコンのIPアドレスはDHCPで自動設定されますので、DHCPでIPアドレスを取得できるようにパソコンで設定してください。
- パソコンで無線LAN接続(Wi-Fi接続)するときは、パソコンの取扱説明書などを参考にして、情報収集ユニットとの通信設定を行ってください。
- パソコンのブラウザーでプロキシ設定している場合は、接続できません。
- パソコンと無線LANまたは有線LANで接続する場合は、情報収集ユニット以外の通信はOFFにしてください。  
例) 有線LANで情報収集ユニットに接続する場合は、無線LANをOFFにする。

# ログイン

## 設置ツールへのログイン方法

スマートフォンアプリを使用して設定するか、設置ツールに直接ログインして設定するかによって、ログイン方法を選択してください。

- オプション1ランプ(⇒16ページ)の点灯を確認してから作業を開始してください。情報収集ユニットの電源投入から、オプション1ランプが点灯するまで、約10～15分かかります。
- クラウドから最新ファームウェアをダウンロード中には設置ツールの反応が悪くなり、設定作業に支障をきたすことがあります。オプション3ランプが青点滅から青点灯になるのを確認してから作業を開始してください。

### ■ スマートフォンアプリを使用して設定する場合

スマートフォンで設置ツールを使う場合は、三菱HEMSスマートフォンアプリ(以下、スマートフォンアプリ)からログインします。

スマートフォンアプリからログインすると「設置モード」画面(⇒25ページ)が表示されます。「設置モード」画面では、設置ツールによる初期設定のほか、動作確認とその他の設定をスマートフォンのみでスムーズに行うことができます。

なお、設置ツールの設定やスマートフォンアプリでの動作確認時には、お客様のユーザー登録は不要です。

#### ① スマートフォンアプリをインストール済みの場合

スマートフォンを情報収集ユニットに無線LAN接続した状態で、スマートフォンアプリからログインします。



#### ② スマートフォンアプリをインストールしていない場合

11ページを参照して、スマートフォンアプリを外部公衆回線に接続した状態でQRコードを読み取り、アプリのダウンロードおよびインストールをした後、①を実施してください。

## ■ 設置ツールに直接ログインして設定する場合

タブレット端末やスマートフォンでの動作確認時にお客様によるユーザー登録が必要になります。

以下の二次元コードを読み込むか、設置ツールのURLを直接ブラウザに入力して、設置ツールに直接ログインしてください。



### 設置ツールのURL

<http://192.168.32.1:8080/set/login>

従来のURLと変更ありません。

### スマートフォンでログインする

- オプション1ランプ(⇒16ページ)の点灯を確認してから作業を開始してください。情報収集ユニットの電源投入から、オプション1ランプが点灯するまで、約10～15分かかります。

#### 1 スマートフォン用の三菱HEMSアプリを起動する



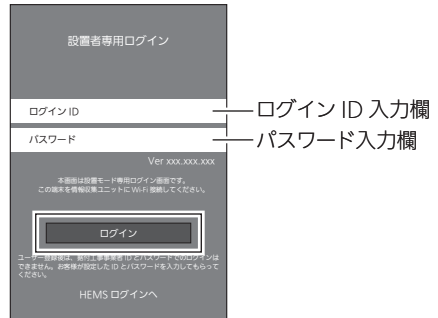
#### 2 一番下の「設置者専用ログインへ」をタップする



#### 3 ログインIDとパスワードを入力し、「ログイン」をタップする

ログインIDとパスワードが認証されると、設置ツール画面が表示されます。

- ログインIDとパスワードは、半角英数字または記号で入力してください。(全角文字は無効です)



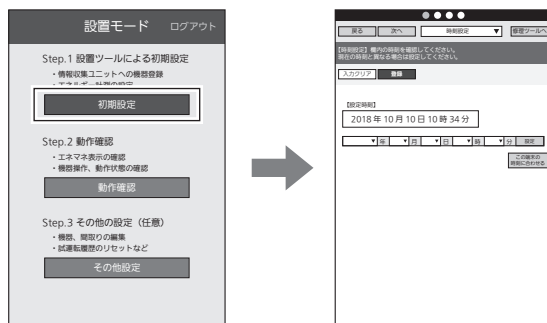
#### おしらせ

- 「設置者専用ログイン」画面から、据付工事業者用のログインIDとパスワードでログインできるのは、ログインIDが未登録状態の時だけです。ユーザーがログインIDとパスワードを登録した後、そのIDとパスワードで「設置者専用ログイン」画面でログインした後、「初期設定」ボタンをタップすると、「設置・修理ツールログイン画面」に移ります。「設置・修理ツールログイン画面」でログインするためには据付工事業者用のログインIDとパスワードが必要です。(⇒27ページ)
- スマートフォンが3G/LTEなどの外部公衆回線に接続されて、情報収集ユニットに無線LAN接続できない場合、「(モバイル)データ通信をオフに設定」するか、「機内モードに設定した後、再度、Wi-Fi接続」することで改善されることがあります。



## 4 「設置モード」が表示されます。

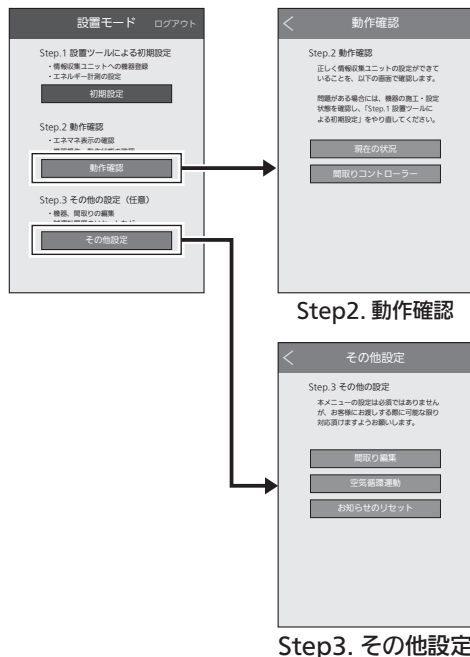
設置ツールでの初期設定を行うときは「初期設定」をタップします。スマホ内のブラウザが起動し、ブラウザから設置ツールにログインします。



### 設置モードについて

設置モードの「STEP」にしたがって作業を行うとスムーズに設定を完了できます。

STEP1は設置ツール(ブラウザアプリ)による初期設定、STEP2は「三菱HEMS」アプリ(スマートフォン用)を用いた動作確認、STEP3は「三菱HEMS」アプリ(スマートフォン用)でのさまざまな設定を行うことができます。



- Step.2 動作確認
  - ・現在の状況  
電力の瞬時値が正しく表示されていることを確認します。
  - ・間取りコントローラー  
実際に機器を操作して、機器の接続状態に問題がないことを確認します。  
機器操作に対応していない機器は、機器側を操作し状態が変化することを確認するか、アイコンの状態でご判断ください。
- Step.3 その他設定
  - ・間取り編集
  - ・空気循環連動などの機器連携  
お客様でも設定できますので必須ではありません。お客様にお渡しする際に可能な限り対応頂きますようお願いいたします。  
操作方法は取扱説明書(操作編)をご参照ください。
  - ・お知らせのリセット  
施工時の試運転履歴などをリセットします。

※28ページの「設置ツール画面の見かた」に進んでください。

### タブレット端末やパソコンでログインする

ブラウザ（インターネット閲覧ソフト）に設置ツールのURLを入力して設置ツールのログイン画面にアクセスしてログインする方法もあります。パソコンやタブレット端末で設置ツールを使用する場合は、この方法でログインしてください。

- タブレット端末やパソコンで設置ツールにログインする前に、あらかじめタブレット端末やパソコンと情報収集ユニットをWi-Fi接続しておいてください。（⇒18ページ）
- オプション1ランプ（⇒16ページ）の点灯を確認してから作業を開始してください。情報収集ユニットの電源投入から、オプション1ランプが点灯するまで、約10～15分かかります。

#### 1 ブラウザー（インターネット閲覧ソフト）を起動する

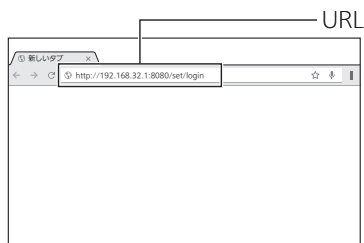
過去に以下のURLを開いたことがある場合、過去の据付工事時のURL画像が再表示されないように過去にキャッシュされた画像とファイルを削除してください。

#### 2 以下のURLを入力し、ログイン画面を表示する

<http://192.168.32.1:8080/set/login>



- 2次元コードを使用してログイン画面を表示した場合、推奨ブラウザ（⇒10ページ）が起動していることを確認してください。



### 3 ログインIDとパスワードを入力し、「ログイン」をタップする

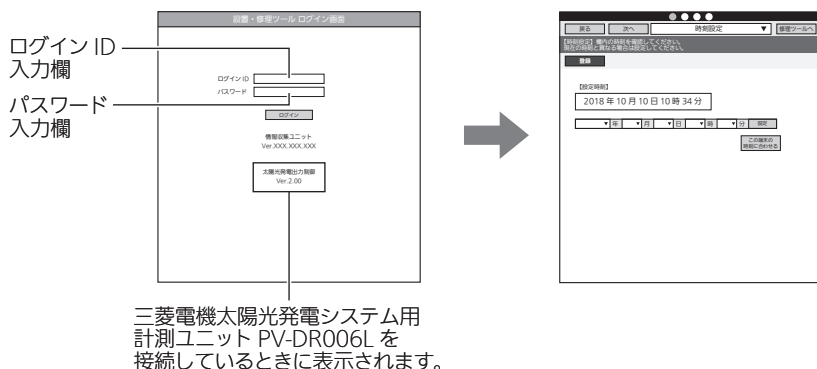
ログインIDとパスワードが認証されると、設置ツール画面が表示されます。

- ログインIDとパスワードは、半角英数字または記号で入力してください。（全角文字は無効です）

キーボード設定によってはログインできない場合があります。ログインできない場合は、入力にGoogleキーボードを使用してください。

ブラウザでパスワードを記憶させないようにしてください。

- 何も操作しないで1時間以上経過するとログアウトします。



#### お知らせ

- 設置ツールはスマートフォン、タブレット端末、パソコンのいずれからログインした場合も共通の画面になります。

## 設置ツール画面の見かた

※画面は、スマートフォン、タブレット、パソコン共通となります。

戻る 次へ STEP表示 プルダウンメニュー

戻る 次へ エネルギー計測機の設定 修理ツールへ

設定項目を入力し、「登録」ボタンで設定を完了してください。  
設定完了後は、1分程度待ってから「取得」ボタンで瞬時値を確認してください。

入力クリア 登録

< エネルギー計測ユニット > 1台目 > エネルギー計測ユニットの2台目の設定画面へ

取得 HM-EM02 MAC アドレス 00:30:30:30:30:30

取得方式 瞬時電力 (W)

【ブレーカー設定】

CT	計測機種別	分岐ブレーカー名	名称仕様設定	相線式	CT 種別	電圧	瞬時値 (W)	瞬時電力 (S) (W)	瞬時電力 (M) (W)
1.1	▼	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ			
1.2	▼	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ			
2.1	▼	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ			
2.2	▼	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ			
3.1	▼	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ			
3.2	▼	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ			
4.1	▼	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ			
4.2	▼	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ			
5.1	▼	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ			
5.2	▼	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ			
6.1	▼	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ			
6.2	▼	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ			
7.1	▼	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ			
7.2	▼	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ			
8.1	▼	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ			
8.2	▼	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ			

修理ツールへ

画面ごとの作業内容や設定のポイントが表示されます。

### ●「戻る」ボタン

前の画面に戻ります。

### ●「次へ」ボタン

次の画面に進みます。

### ●「修理ツールへ」ボタン

メンテナンス時に使用します。

### ●「STEP表示」

赤い丸が現在のSTEPを示します。

### ●プルダウンメニュー

現在の画面名称が表示されます。設定画面を任意で選択する場合は、タップしてリストから選択します。

### ●「入力クリア」ボタン

設定画面で項目を入力後、設定内容を元に戻す場合にタップします。

### ●「登録」ボタン

設定画面で項目を入力後、設定内容を保存する場合にタップします。「登録」をタップせずに別画面に移動すると設定内容が保存されません。

※ブラウザの画面を閉じるとログアウトします。

設定項目を入力後、「登録」をタップすると「次へ」ボタンが有効になります。

「次へ」をタップして次の画面に進み、各種設定作業を行う事で、流れに従って一通りの設定を完了させることができます。



# システムに関する設定

## 時刻設定

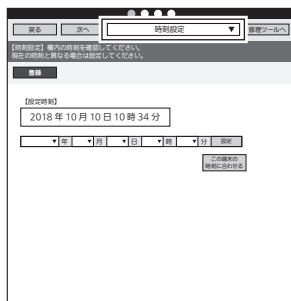
情報収集ユニットの日付・時刻を設定します。

- 日付・時刻を設定しないと正しく動作しないので、必ず設定してください。

情報収集ユニットの電源をOFFにすると設定時刻がクリアされます。電源をOFF(停電等を含む)にした場合は、再度日付・時刻を設定してください。

### 1 設置ツールにログインするか、プルダウンメニューをタップしてリストを表示し、「時刻設定」をタップする

「時刻設定」画面が表示されます。

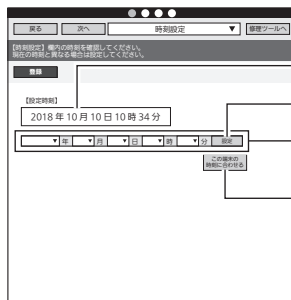


時刻設定画面

### 2 設定する項目(年/月/日/時/分)を選択して、「設定」をタップする

「設定時刻」欄の表示が更新されます。

- 「この端末の時刻に合わせる」をタップすると、タブレット端末、スマートフォンまたはパソコンで設定されている時刻が時刻入力欄に表示されます。
- ブラウザーの種類によっては、設定を確認するポップアップが表示されます。「OK」をタップして進んでください。
- 正しい日付・時刻が表示されないときは、再度設定してください。



設定時刻

設定

年/月/日/  
時/分

この端末の  
時刻に  
合わせる

## おしらせ

- 日付・時刻が正しく設定されていないときや誤った日付・時刻を設定したときは、使用電力量が正確に記録されなかったり、正しく動作しなかったりすることがあります。
- お客様が使用するタブレット端末の日付・時刻を変更しても、情報収集ユニットの日付・時刻は変更されません。タブレット端末用「三菱HEMS」アプリから、情報収集ユニットの日付・時刻を設定できます。
- 各機器を正しく動作させるために、各機器の時刻設定は、情報収集ユニットの日付・時刻に合わせてください。
- 太陽光発電システムを接続しており、電力会社指定のNTPサーバーと時刻同期済みの場合は、「電力サーバーと時刻が同期済みにつき、時刻設定できません。」と表示されます。この場合は、手動での時刻設定は不要です。

### システム設定

お客様に引き渡すときに、引渡年月の入力と冬期間、買取方式の設定を行います。

#### 1 「次へ」ボタンで本画面に移動するか、プルダウンメニューをタップしてリストを表示し、「システム設定」をタップする

「システム設定」画面が表示されます。

- 別画面に移動する場合は、「登録」ボタンにて設定を完了するか、または、「入力クリア」ボタンを押してください。

システム設定画面

#### 2 「引渡年月入力」欄で引渡年月、「冬期間」欄で冬期間、「買取方式」で買取方法を選択する

- 「引渡年月入力」欄では、「年」、「月」をプルダウンメニューから選択します。  
引渡年月はエンドユーザー様への引渡年月を入力してください。
- 「冬期間」欄では、「月」をプルダウンメニューから選択します。  
設定された期間は、冬期換気量抑制などの機能で使われます。  
「冬期間」の設定は、後日、エンドユーザー様が再設定することができます。「冬期間」が不明確の場合は、そのまま(デフォルト入力値のまま)設定してください。
- 「買取方式」欄では、太陽光発電の契約方式である「余剰買取」、「全量買取」のいずれかをプルダウンメニューから選択します。  
太陽光発電がない場合、余剰買取を選択します。  
※三菱電機太陽光発電システム用計測ユニット(エコガイド、IFU)が接続されている場合の買取方式は、三菱電機太陽光発電システム用計測ユニットの設定が優先されます。

**余剰買取：** 発電した電力から使用した電力を引いて余った電力のみを電力会社が買い取り

**全量買取：** 発電したすべての電力を電力会社が買い取り



### 3 「設定」をタップする

- ブラウザーの種類によっては、設定を確認するポップアップが表示されます。「OK」をタップして進んでください。

登録

# 機器の接続・設定

## 機器の設置方法／接続機器台数／接続機器詳細設定要否

### ■ 機器の設置方法

各機器を設置します。

- 各機器の設置方法については、各機器の据付工事説明書をご覧ください。  
各機器の据付工事説明書・技術マニュアルなどをWebで見することもできます。  
暮らしと設備の業務支援サイト「WIN2K」  
<https://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/wink/ssl/top.do>
- 情報収集ユニットをインターネット回線に接続するときは、ブロードバンドルーターのLANポートと情報収集ユニットのWANポートをLANケーブルで接続してください。

### ■ 機器の接続方法

情報収集ユニットの設置ツールにログインします。(→24ページ)

その後、情報収集ユニットと各機器を接続します。

- 情報収集ユニットと各機器を接続する前に、各機器の電源を入れ、初期設定が完了していることを確認してください。詳しくは、各機器の据付工事説明書をご覧ください。
- 1台の情報収集ユニットに対して、合計で32機器まで設置することができます。

表の○の機器を複数組み合わせて使用する場合は「エネマネ設定」が必要になります。

三菱HEMS対応機種以外を接続した場合にも「エネマネ設定」が必要になります。

(→65～67ページ)

機器	機器数のカウント方法	
ルームエアコン	本体1台で1機器	
ハウジングエアコン	本体1台で1機器	
エコキュート	本体1台で1機器	
冷蔵庫	本体1台で1機器	
IHクッキングヒーター	本体1台で1機器	
エアフロー環気システム	本体1台で1機器	
ロスナイセントラル換気システム	本体1台で1機器	
ダクト用換気扇	本体1台で1機器	
カウンターアローファン	本体1台で1機器	
レンジフードファン	本体1台で1機器	
バス乾燥・暖房・換気システム	本体1台で1機器	
エコヌクール	リモコン1台ごとに1機器	
テレビ	本体1台で1機器	
エアリゾート・ルームコントローラー (エアリゾート・センターコントローラー)	ルームコントローラー1台で1機器(※1)	
電動窓シャッター(ワイヤレス通信機)	シャッター1台で1機器(※2)	
パナソニック照明スイッチ (照明スイッチ用無線アダプタ)	照明スイッチ1回路で1機器(※3)	
パナソニックエアコン(Wi-Fi内蔵タイプ)	本体1台で1機器	

機器	機器数のカウント方法	
パナソニックエアコン パナソニックエコキュート (無線ゲートウェイ/メディアコンバーター)	本体1台で1機器(※4)	
ダイキンエアコン	本体1台で1機器	
コイズミ照明スマートスイッチ、 メモリーライトコントローラ(スマートアダプタ)	照明スイッチ1回路で1機器(※5)	
ノーリツ ガス機器(ECHONET Lite通信アダプタ)(※6)	ガス機器1台で1機器	○
エネルギー計測ユニット	本体1台で1機器	○
ホーム分電盤	本体1台で1機器	○
EV用パワーコンディショナ	本体1台で1機器	○
スマートメーター(※7)	本体1台で1機器	○
太陽光発電システム	本体1台で1機器	○
田淵電機蓄電ハイブリッドシステム	本体1台で1機器	○
オムロンハイブリッド蓄電システム	本体1台で1機器	○
オムロンフレキシブル蓄電システム	本体1台で1機器	○
三協立山 電気錠付きドア	本体1台で1機器	
三協立山 電動シャッター	本体1台で1機器	

※1：エアリゾート・センターコントローラーに接続可能なエアリゾート・ルームコントローラーの数は最大10台。

※2：ワイヤレス通信機に接続可能な電動窓シャッター本体の数は最大32台。

※3：照明スイッチ用無線アダプタに接続可能なパナソニック照明スイッチは最大20回路。

※4：無線ゲートウェイ/メディアコンバーターに接続可能なパナソニックエアコン本体とパナソニックエコキュート本体の数は合計で最大8台。

※5：スマートアダプタに接続可能なコイズミ照明スマートスイッチとコイズミ照明メモリーライトコントローラは最大83回路。

※6：ECHONET Lite通信アダプタ1台に接続可能なガス給湯器は1台、その他のガス機器は給湯器の仕様による。

※7：スマートメーター対応USB Dongle(形名：HM-DG01-S、別売品)が必要です。

●以下の機器は、1台の情報収集ユニットに接続可能な最大台数が設定されています。

機器	最大台数
三菱電機製エコキュート	本体：2台
電動窓シャッター(ワイヤレス通信機)	ワイヤレス通信機：1台
パナソニック照明 (照明スイッチ用の無線アダプタ)	照明用の無線アダプタ：1台
エネルギー計測ユニット(※8)	本体：2台
ホーム分電盤(※8)	本体：1台
EV用パワーコンディショナ	本体：1台
スマートメーター	本体：1台
太陽光発電システム	本体：1台
田淵電機蓄電ハイブリッドシステム(※9)	本体：1台
オムロンハイブリッド蓄電システム(※9)	本体：1台

※8：エネルギー計測ユニットとホーム分電盤は併設できません。

※9：田淵電機蓄電ハイブリッドシステムとオムロンハイブリッド蓄電システムは併設できません。

## 設置ツール上の機器名称

設置ツールに表示される機器の名称は以下のとおりです。

n,mは数字を表す

メーカー名	機器	「機器接続登録」画面上の登録機器名称	「機器接続確認」画面の機器名称
三菱電機	エネルギー計測ユニット	エネルギー計測ユニットn	エネルギー計測ユニットn
	エコキュート	エコキュート(給湯)n	エコキュート(給湯)n エコキュート(風呂)n-m
	ルームエアコン	エアコンn	エアコンn
	ハウジングエアコン	ハウジングエアコンn	ハウジングエアコンn
	冷蔵庫	冷蔵庫n	冷蔵庫n
	IHクッキングヒーター	IHクッキングヒーターn	IHクッキングヒーターn
	エアフロー環気システム	全館換気n	全館換気n 浴室換気n-m
	ロスナイセントラル換気システム	全館換気ロスナイn-(号機)	全館換気ロスナイn-(号機)
	ダクト用換気	換気扇n-(号機)	換気扇n-(号機)
	カウンターアローファン	送風機n-m-(号機)	送風機n-m-(号機)
	レンジフードファン	キッチンの換気扇n-(号機)	キッチンの換気扇n-(号機)
	バス乾燥・暖房・換気システム	浴室暖房乾燥機n	浴室暖房乾燥機n
	エコヌクール	エコヌクールn	床暖房リモコンn-m エコヌクールn
	テレビ	テレビn	テレビn
	EV用パワーコンディショナ	EV用パワコンn	EV用パワコンn
	エアリゾート・センターコントローラー	エアリゾートセンターn	エアリゾートセンターn エアリゾートルームn-m
	太陽光発電システム	太陽光発電システム	太陽光発電システム
河村電器産業	ホーム分電盤	ホーム分電盤	ホーム分電盤
文化シャッター	電動窓シャッター (ワイヤレス通信機)	シャッターnあるいは シャッターn/他m台	シャッターn
パナソニック	照明(無線アダプタ)	照明nあるいは 照明n/他m台	照明n
	エアコン (Wi-Fi内蔵タイプ)	家庭用エアコンn	家庭用エアコンn
	エアコン、エコキュート (無線ゲートウェイ/ メディアコンバーター)	家庭用エアコンn、 電気温水器n、 あるいはXXX/他m台(※1)	家庭用エアコンn、 電気温水器n
オムロン	ハイブリッド蓄電システム	ハイブリッド蓄電システムn	ハイブリッド蓄電システムn
	フレキシブル蓄電システム	蓄電池n	蓄電池n
田淵電機	蓄電ハイブリッドシステム	蓄電ハイブリッドシステム	蓄電ハイブリッドシステム
ダイキン工業	エアコン	家庭用エアコンn	家庭用エアコンn

※1: XXXには家庭用エアコン、あるいは電気温水器が入る。

n,mは数字を表す

メーカー名	機器	「機器接続登録」画面上の 登録機器名称	「機器接続確認」画面の 機器名称
その他 他社機器	スマートメーター	(機器接続確認画面に表示 なし。スマートメーター設 定画面に表示。)	(機器接続確認画面に表示 なし。スマートメーター設 定画面に表示。)
コイズミ照明	照明スイッチ	一般照明n/他m台あるいは 照明システムn/他m台	一般照明 n 照明システムn
三協立山	電気錠付きドア	電気錠 n	電気錠 n
	電動シャッター	スイッチ n	スイッチ n
ノーリツ	ガス給湯器	ガス給湯器 n	ガス給湯器 n 家庭用燃料電池 n
	床暖房		ガス床暖房 n-m
	浴室暖房乾燥機		ガス浴室暖房乾燥機 n-m

### 機器接続と登録

機器の接続／登録を行います。

有線LANまたは無線LANで情報収集ユニットまたはブロードバンドルーターと機器を接続してください。

接続先は「HEMSシステム 手配図と接続先図」をご覧ください。（⇒8～9ページ）

#### ■ 三菱電機製機器を有線接続する場合

『準備』の「設置ツールの設定を行う前の準備」（⇒10ページ）と「おしらせ」（⇒15ページ）に従って、機器側の設定を実施してください。

各機器と情報収集ユニットを有線LANで接続します。

有線LAN機器は情報収集ユニットとLANケーブルで接続してください。

テレビはブロードバンドルーターに接続してください。詳細は、15ページの「おしらせ」をご覧ください。

有線LANで接続できる機器は、システム概要図をご覧ください。（⇒4～5ページ）

#### ■ 他社機器を有線接続する

有線接続先は「HEMSシステム 手配図と接続先図」をご覧ください。（⇒8～9ページ）

- パナソニック無線ゲートウェイ/メディアコンバーター（無線ゲートウェイからパナソニックエアコンおよびエコキュートを特小無線接続）と接続される場合は、パナソニックエアコンの本体設定で遠隔操作を許可「あり」に設定、パナソニックエコキュートの本体設定でHEMS設定を「入」に設定してから接続してください。本体設定の詳しい方法は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- パナソニック照明用アダプターと照明の接続がされていない場合（※1）は、パナソニック照明用アダプター取扱説明書に従って接続してください。
- 文化シャッター電動窓シャッターワイヤレス通信機と各シャッターの接続設定は、メーカー（文化シャッター）工場にて実施されます。接続設定されていない文化シャッター電動窓シャッターワイヤレス通信機をブロードバンドルーターまたは情報収集ユニットに接続しても登録できません（機器接続登録画面に現れません）。メーカーに各シャッターの接続を依頼してください。  
備考：シャッターとワイヤレス通信機の接続設定がされている場合、シャッターをリモコンで操作するとワイヤレス通信機のLEDが点滅します。
- パナソニック無線ゲートウェイ/メディアコンバーターとパナソニックエアコン/エコキュートの接続がされていない場合（※1）は、パナソニックHEMSアダプター工事説明書または取扱説明書に従って接続してください。エアコンとエコキュートで接続方法が異なります。

（※1）登録できないため、「機器接続登録」画面上で登録確認できません。先にエアコン/エコキュート/照明の接続を実施してください。

なお、複数台接続しても「機器接続登録」画面上では1台しか見えません。個々の接続確認は「機器接続確認」画面で確認してください。

- 田淵電機蓄電ハイブリッドシステムを接続できなかった場合(有線LANで接続しても「機器接続登録」画面上で登録確認できない)、田淵電機蓄電ハイブリッドシステムの「Echonet Lite 設定」をONにしてください(デフォルトはONです)。詳しくは田淵電機蓄電ハイブリッドシステムの「取扱説明書」もしくは「サービスマンモード取扱説明書」をご覧ください。
- 情報収集ユニットからブロードバンドルーターに有線LANの接続を変更したときは機器側を再起動してください。再起動が難しい「田淵電機蓄電ハイブリッドシステム」はメーカーの取扱説明書に従ってIPアドレスの取得(田淵電機蓄電ハイブリッドシステムのモニターのMENUでDHCP設定の自動を押す)を行ってください。
- オムロンフレキシブル蓄電システムを接続する場合は、オムロンフレキシブル蓄電システム本体設定でHEMS接続設定を「有効」に設定し、その後有線接続してください。機器接続完了後に、現在の状況に蓄電池の充放電電力が表示されない場合は、リモートコントローラのリセットスイッチを5秒間長押しして、リモートコントローラの再起動を実施してください。詳しい方法は、接続する機器の据付工事説明書および取説システム編をご覧ください。
- スマートスイッチ(スマートアダプタ)またはメモリーライトコントローラ(スマートアダプタ)を接続する場合は、スマートアダプタと、スマートスイッチやメモリーライトコントローラの間の通信線が繋がれている必要があります。詳細は、スマートスイッチやメモリーライトコントローラの取扱説明書を参照してください。
- ECHONET Lite 通信アダプタでガス機器を接続する場合は、ガス給湯器とブロードバンドルーター間をECHONET Lite通信アダプタを介して接続する必要があります。ECHONET Lite通信および遠隔操作が有効となるようにアダプタが設定されていることをご確認ください。設置ツール「機器接続登録」画面はガス給湯器しか表示されません。ガス床暖房などのガス機器の接続確認は「機器接続確認」画面で行ってください。「機器接続確認」画面に表示されない場合はガス機器の据付工事説明書、取扱説明書に従ってガス機器とガス給湯器の通信線を接続してください。
- ホーム分電盤を接続する場合は、機器接続完了後に、現在の状況に使用電力などが表示されない場合は、通信計測ユニットのリセットボタンを押して、通信計測ユニットの再起動を実施してください。詳しい方法は、接続する機器の据付工事説明書および取説システム編をご覧ください。

※上記は2019年6月調査時点です。各メーカーの都合で変更される場合がありますので、各メーカーの据付工事説明書や取扱説明書などに従って設定してください。

### ■ 三菱電機製機器を無線接続する場合

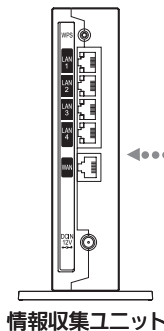
『準備』の「設置ツールの設定を行う前の準備」(⇒10ページ)に従って、機器側の設定を実施してください。

各機器と情報収集ユニットを無線LANで接続します。

無線LANアダプターで接続するときは、対象機器に1台ずつ接続してください。

無線LANアダプターで接続できる機器は、システム概要図をご覧ください。

(⇒4～5ページ)



無線 LAN アダプター (HEMS 用)

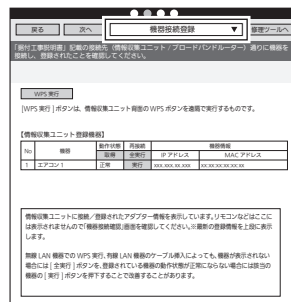
※機器によっては、仕様が異なることがあります。

- 太陽光発電システム用計測ユニットと情報収集ユニットの接続は太陽光発電システム用表示ユニットにより行う必要がありますので、三菱電機太陽光発電システム カラーモニター エコガイドの据付工事説明書に従って接続してください。

#### 1 「次へ」ボタンで本画面に移動するか、プルダウンメニューをタップしてリストを表示し、「機器接続登録」をタップする

「機器接続登録」画面が表示されます。

詳しくは「機器の接続と登録を確認する」をご覧ください。(⇒44ページ)



機器接続登録画面

### 重要

エコキュートの「太陽光発電出力制御連携モード」は、1台目のエコキュートのみが有効となります。エコキュートを2台登録する場合は、太陽光発電出力制御連携するエコキュートを最初に登録してください。

エコキュートは型番によって太陽光発電出力制御連携モードに大きな違いがあります。2台目のエコキュートを追加するときは、太陽光発電出力制御連携に関してユーザー様のご意向を確認の上、実施してください。エコキュートの型番の見方は『据付工事説明書詳細編』『太陽光発電との連携制御まとめ(お天気リンクAIを含む)』を参照してください。

次ページに続く

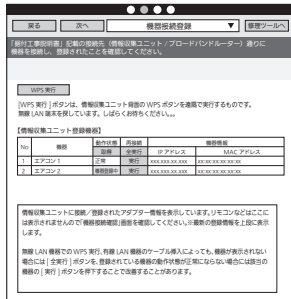




## 4 無線LANアダプターの「WPS」ボタン をランプ1が点滅するまで押す (約2秒)

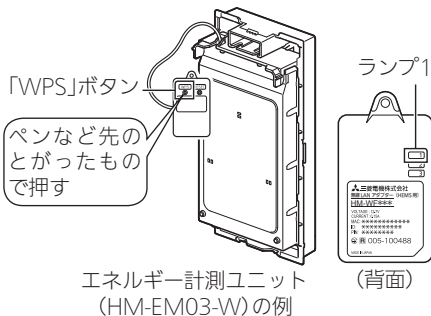
ランプ1が緑色に点滅します。

- 操作3を行ったあと、2分以内に操作してください。
- 「WPS」ボタンを10秒以上押すと、2分後にエラーになります。



WPS 実行中画面

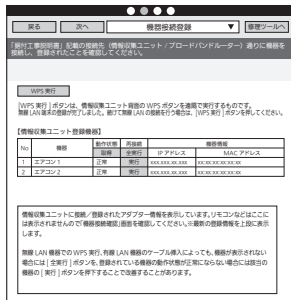
同一のWPS実行期間内に2台以上実施した場合、エラーが発生しWPSできなくなる場合があります。対処法については、「こんなときは」(→78ページ)を参照してください。



エネルギー計測ユニット  
(HM-EM03-W) の例

## 5 無線LANの登録が完了したことを確認する

無線LANの登録が完了すると、右の画面が表示され登録した機器の名称が追加表示されます。



WPS 完了画面

情報収集ユニットと登録した無線LANアダプターのランプは、以下のように表示されます。

情報収集ユニットの登録ランプ : 橙色に点灯(10秒間)  
無線LANアダプターのランプ1 : 緑色に点灯(5秒間)後、  
5秒に1回点滅  
(2回連続して点滅)

になれば、設定完了です。

- 情報収集ユニットのアラームランプ : 赤色に点滅(10秒間)
  - 無線LANアダプターのランプ2 : 橙色に点灯(5秒間)
- になったときは、2分以上たってからもう一度、操作3からやり直してください。

登録ランプ



(側面)

ランプ1、2



(背面)

## <ランプ表示の一覧>

情報収集ユニットと各機器の無線LANアダプターのランプ表示は、次のようになります。

### 【情報収集ユニット】

状態	電源ランプ	アラームランプ	オプション1ランプ	登録ランプ
WPS通信開始前 ※1	緑色に点灯	消灯	緑色に点灯	消灯
WPS通信中	緑色に点灯	消灯	緑色に点灯	橙色に点滅
WPS通信に成功	緑色に点灯	消灯	緑色に点灯	橙色に点灯(約10秒)
WPS通信に失敗 ※2	緑色に点灯	赤色に点滅(約10秒)	緑色に点灯	橙色に点滅(約10秒)

※1：電源を入れてから約5分経過後。

※2：約10秒後にWPS通信開始前の状態に戻ります。

※3：その他の情報収集ユニットのランプ表示については、情報収集ユニットの取扱説明書をご覧ください。

### 【各機器の無線LANアダプター】

状態	ランプ1	ランプ2	ランプ3
WPS通信開始前 ※4	消灯	消灯	緑色に点滅(5秒に1回)
WPS通信中	緑色に点滅(1秒に1回)	消灯	消灯
WPS通信に成功	緑色に点灯(5秒間)	消灯	消灯
WPS通信に失敗	消灯	橙色に点灯(5秒間)	消灯
通常時(WPS通信完了後)	緑色に点滅(5秒に1回) ※5	消灯	緑色に点滅(5秒に1回)

※4：電源を入れてから約3分経過後。

※5：2回連続して点滅します。

## ■ 他社機器を無線接続する

無線接続先は「HEMSシステム 手配図と接続先図」をご覧ください。(⇒8～9ページ)

- オムロンハイブリッド蓄電システムと接続される場合は、オムロンハイブリッド蓄電システム本体設定でHEMS設定を「あり」に設定してください。その後、無線接続してください(有線接続しないでください)。本体設定および無線接続の詳しい方法は、接続する機器の据付工事説明書および取説システム編をご覧ください。  
カラー表示ユニットと計測ユニットの両方を無線接続してください。
- パナソニック エアコン 無線LAN内蔵モデルと接続される場合は、パナソニックエアコン本体設定で遠隔操作を「あり」に設定してから無線接続してください。  
本体設定および無線接続の詳しい方法は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- ダイキンエアコンと接続される場合は、無線LAN接続アダプターの取扱説明書に従って接続してください。
- 電気錠付きドアを接続する場合は、エコーネットライトアダプタの取扱説明書に従って、ディップスイッチを「電気錠」に設定してください。
- 電動シャッターを接続する場合は、エコーネットライトアダプタの取扱説明書に従って、ディップスイッチを「電動シャッター」に設定してください。

- ECHONET Lite通信対応の台所リモコンでガス機器を接続する場合は、ガス給湯器とブロードバンドルーター間をECHONET Lite通信アダプタを介して接続する必要があります。ECHONET Lite通信および遠隔操作が有効となるようにアダプタが設定されていることをご確認ください。設置ツール「機器接続登録」画面はガス給湯器しか表示されません。ガス床暖房などのガス機器の接続確認は「機器接続確認」画面で行ってください。「機器接続確認」画面に表示されない場合はガス機器の据付工事説明書、取扱説明書に従ってガス機器とガス給湯器の通信線を接続してください。

※上記は2019年6月調査時点です。各メーカーの都合で変更される場合がありますので、各メーカーの据付工事説明書や取扱説明書などに従って設定してください。

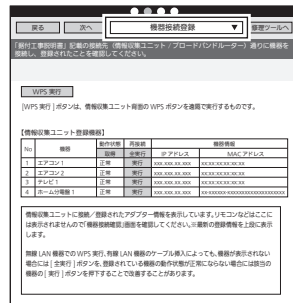
## ■ 機器の接続と登録を確認する

接続されている機器の状態を一覧表示します。

- 部屋の扉を閉めるなど、お客様が実際に行う環境に合わせて接続確認を行ってください。

### 1 「次へ」ボタンで本画面に移動するか、プルダウンメニューをタップしてリストを表示し、「機器接続登録」をタップする

情報収集ユニットに登録された機器の一覧が表示されます。また、状態を確認することができます。



機器の接続と登録の状態確認画面

項目	内容
動作状態	各機器の動作状態が表示されます。
再接続	タップすると機器に再接続し、動作状態、IPアドレス、MACアドレスを再取得します。
IPアドレス	各機器に割り当てられたIPアドレスが自動で表示されます。
MACアドレス	各機器のMACアドレスが自動で表示されます。

## 2 リストに機器が表示されないときは、「全実行」をタップして、機器登録をしてください。

登録されるまで約1分半かかります。

- 登録後、「取得」をタップして接続された機器がリストに表示されていることを確認してください。

※情報収集ユニットの起動→設置ツールの立ち上げ→有線LAN機器の起動の順に操作すると、自動的に有線LAN機器が登録されます。

取得

全実行

## 3 30秒経過後、「取得」をタップする

情報収集ユニットが、各機器から動作状態の取得を行います。

- タップごとに、各機器の最新の情報が更新されます。
- 「再接続」欄の「全実行」をタップすると、すべての機器に対して再接続を行います。「実行」をタップすると、各機器に対して再接続を行います。

状態が更新されるには、「全実行」ボタンタップ後、約1分半かかります。

取得

全実行

実行

おしらせ

- WPS通信に成功した機器が表示されない場合や動作状態欄に「通信異常」と表示される場合は、再度「取得」をタップしてください。
- ブロードバンドルーターに接続する機器が、情報収集ユニットに登録できない場合、下記の作業を行ってください。

(1) 機器の登録ができない(設置ツール「機器接続登録」画面に機器が表示されない)

- ① 設置ツールの機器接続登録画面で、「全実行」ボタンを押下する
- ② ブロードバンドルーターを再起動する(電源OFF/ON)
- ③ 機器側を再設定する<sup>(※)</sup>

(2) 機器が“通信異常”になる

- ① ブロードバンドルーターを再起動する(電源OFF/ON)
- ② 機器側を再設定する<sup>(※)</sup>

(※) 機器側の再設定方法については、機器仕様によって、以下のように異なります。

機器	接続	再設定時に操作する機器と方法	
		操作対象機器	再設定方法
三菱電機製 液晶テレビ	有線	液晶テレビ本体	電源プラグの抜き差しを実施する。
パナソニック製 照明スイッチ		無線アダプタ	
パナソニック製 エアコン/エコキュート		無線ゲートウェイ/ メディアコンバーター	
文化シャッター製 電動窓シャッター		ワイヤレス通信機	
三協立山製 電気錠付きドア、電動シャッター	無線	大和電器製 エコー ネットライトアダプタ	
パナソニック製 ルームエアコン (無線LAN内蔵タイプ)		ルームエアコン本体	
ダイキン工業製 ルームエアコン		ルームエアコン本体	
田淵電機製 蓄電ハイブリッドシステム	有線	リモコン	リモコンでネットワーク設定を自動 ⇒ 手動 ⇒ 自動に設定
ノーリツ製 ガス機器 (ECHONET Lite 通信アダプタ)		ECHONET Lite 通信アダプタ	LAN ケーブルの抜き差しを実施する。
オムロン製 フレキシブル蓄電システム		リモートコントローラ	リモートコントローラのリセットスイッチを5秒以上長押しする。
河村電器産業製 ホーム分電盤		ホーム分電盤本体	通信計測ユニットのリセットボタンを押す。
コイズミ照明製 照明スイッチ		スマートアダプタ	アダプタのリセットボタンを5秒間長押しする。
ノーリツ製 ガス機器 (ECHONET Lite 通信対応 台所リモコン)	無線	台所リモコン	「メニュー」ボタンを押し、「音・その他」→「無線LAN」へ進み、「無線LAN」をOFF、ONと切り替える。
オムロン製 ハイブリッド蓄電システム		計測・操作ユニット (EIG)	EIGのリセットボタンを押す。

- 機器を誤った接続先に繋いでしまった場合、ブロードバンドルーターと情報収集ユニットのいずれか正しい接続先に繋いだうえで、機器側を再設定してください。再設定の方法は、上表を確認してください。

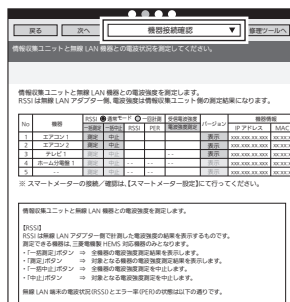
## 機器接続確認

情報収集ユニットと無線LAN機器との電波強度を測定します。

- RSSIは無線LANアダプター側、電波強度は情報収集ユニット側の測定結果が表示されます。
- ブロードバンドルーターと無線接続されている機器との電波強度は、ブロードバンドルーターや各機器の取扱説明書などで確認してください。

### 1 「次へ」ボタンで本画面に移動するか、プルダウンメニューをタップしてリストを表示し、「機器接続確認」をタップする

「機器接続確認」画面が表示されます。

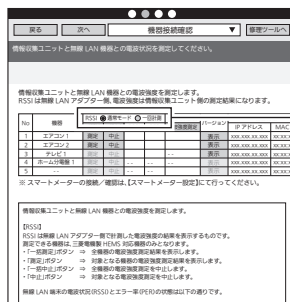


機器接続確認画面

### 2 計測モードを選択する

通常は「通常モード」に設定してください。

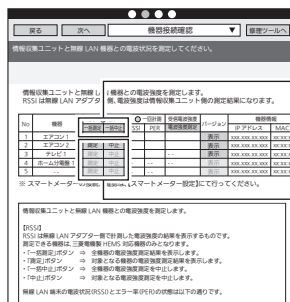
- 通常モード：100回計測した平均値を表示します。
- 一回計測：1回のみ計測した値を表示します。



計測モード

### 3 「一括測定」をタップする

RSSI/PERの測定を開始します。



一括測定 / 一括中止

測定 / 中止

- 自動でRSSI/PERの測定結果が色または数値で表示されます。  
(接続されている台数によって時間が異なります。場合によっては約30秒以上かかることがあります。)

	表示色		
	緑色	黄色	赤色
RSSI (※1)	-75dBm以上	-75dBm～ -85dBm	-85dBm未満
PER (※2)	5%未満	5%～10%	10%以上

※1：RSSI(Received Signal Strength Indicator)

受信した電波の強度を示す指標。

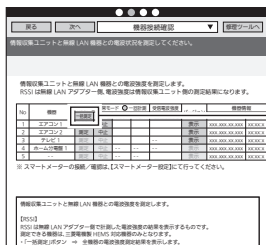
※2：PER(Packet Error Rate)

パケット誤り率。受信品質を示す指標。

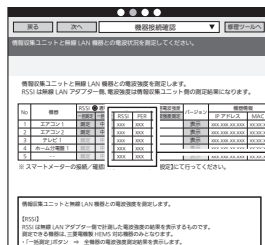
※3：有線LANで接続した機器については、「RSSI」欄には「-」、「PER」欄に「\*」と表示されます。

RSSIの数値が緑色(-75dBm以上)であることを確認してください。

- RSSIの数値が黄色(-75dBm～ -85dBm)または赤色(-85dBm未満)のときは、情報収集ユニットの向きや位置を変えてから、もう一度「一括測定」をタップしてください。
- 「ERR」と表示されたときは、機器の電源が入っているか、無線LANアダプターが正常に動作しているかを確認し、再度測定してください。  
再度測定しても「ERR」の表示が消えない場合は、「ERR」と表示された機器に情報収集ユニットを近づけて再度測定してください。
- RSSIとPERの測定を中止するときは、「一括中止」をタップしてください。
- 機器ごとに個別に測定するときは、「測定」をタップしてください。(測定を中止するときは「中止」をタップしてください。)



一括測定

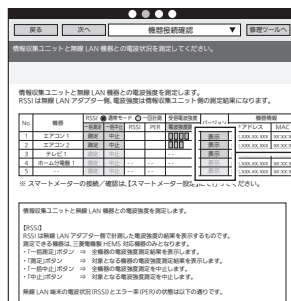


RSSI, PER

## 4 「表示」をタップする

各機器のバージョン情報(機器情報)の別画面が表示されます。

- 無線LAN機器と有線LAN機器では表示される内容が異なります。
- 表示される別画面の「画面更新」をタップすると画面が最新状態に更新されます。RSSIとIT通信状態の変化を確認するときに使用します。



表示



## ①無線LAN接続機器の場合

※表示内容は製品によって異なります。

機器情報	
192.168.32.101/unitinfo	
接続機器	
型名	HM-WR002
M16C Ver	01.00
G51500M Ver	01.00
製造番号	1402260057
製造年月日	2014/02/26
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
RSSI	-44
IT通信状態	正常
接続機器名称	エコキュート
接続機器型名	P37J
接続機器	09.05
製造番号	-
製造年月日	0000/00/00

画面更新

項目	説明
「型名」から「MACアドレス」まで	無線LANアダプターの情報です。 この表示内容は一例で接続機器により変わります。
RSSI	Received Signal Strength Indicator (無線LANアダプターが)受信した電波の強度を示す指標。
IT通信状態	無線LANアダプターと接続機器間の通信状態
接続機器名称	無線LANアダプターと接続されている機器の情報
接続機器型名	
接続機器	接続機器(この例ではエコキュート)のソフトウェアバージョン
製造番号	無線LANアダプターと接続されている機器の情報
製造年月日	

## ②有線LAN接続機器の場合

※表示内容は製品によって異なります。

機器情報	
192.168.32.101/unitinfo	
接続機器	
型名	HM-E102
Rx63N	1.00
製造年月日	2014/09/08
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
IT通信状態	正常
接続機器名称	スマート環気システム ※
接続機器型名	HM-Q1C-D
接続機器	01.04
製造番号	-
製造年月日	-

画面更新

項目	説明
「型名」から「MACアドレス」まで	有線LANアダプターの情報です。 この表示内容は一例で接続機器により変わります。
IT通信状態	有線LANアダプターと接続機器間の通信状態
接続機器名称	有線LANアダプターと接続されている機器の情報
接続機器型名	
接続機器	接続機器(この例ではスマート環気システム)のソフトウェアバージョン
製造番号	有線LANアダプターと接続されている機器の情報
製造年月日	

※ダクト用換気扇、レンジフードファン、カウンターアローファン、ロスナイセントラル換気システム

⇒「スマート環気システム」と表示されます。

※バス乾燥・暖房・換気システム ⇒「バス乾」と表示されます。

# エネルギー計測に関する設定

## エネルギー計測機器の設定

### ① 初期設定

- エネルギー計測ユニットHM-EM03とホーム分電盤は併設できません。  
エネルギー計測ユニットHM-EM03とホーム分電盤が機器登録されている場合には「エネルギー計測ユニットの設定」画面が表示され、エネルギー計測ユニットHM-EM03を使用した計測となります。ホーム分電盤に内蔵されている計測機能を使用することはできません。
- エネルギー計測ユニットHM-EM03またはホーム分電盤から情報収集ユニットに取り込んだデータを正しく表示するために、設置ツールの「エネルギー計測機器の設定」でエネルギー計測機器の設定をしてください。
- オムロンハイブリッド蓄電システムは、分岐計測や外部発電計測をしている場合のみ（主幹とシステム内の蓄電池、太陽光発電は除く）、『据付工事説明書詳細編』「ハイブリッド蓄電システム設定」でエネルギー計測機器の設定をしてください。
- 他のエネルギー計測機器（例：太陽光発電システム用計測ユニットPV-DR006L）は、設置ツールでのエネルギー計測機器の設定は不要です。
- エネルギー計測機器を併設した場合は、「エネマネ設定」（⇒65～67ページ）を実施してください。

### ■ エネルギー計測ユニットHM-EM03の場合

- エネルギー計測ユニットHM-EM03（以下、エネルギー計測ユニット）に同梱している「三菱HEMS エネルギー計測ユニット CT設定チェックシート」を使用して設定してください。
- 設定できる回路数は以下のとおりです。

機器名	回路数(最大)	1回路の設定に必要なCTの数
主幹	1	2
太陽光発電	4	1(※1)
外部発電機(※2)	1	1(※1)
蓄電池	1	2
蓄電池負荷	1	1(※1)
その他の機器(負荷)	16(※3)	1
ガス(※4)	1	
水道(※4)	1	

※1:CTを2個使用することもできます。

※2:外部発電機とは、家庭用燃料電池などを指します。

※3:エネルギー計測ユニット1台に接続できるCTの最大数は16個です。

主幹、太陽光発電、外部発電機、蓄電池に設定した場合は、その他の機器に使用できる台数は少なくなります。

※4:ガス・水道メーターは各1系統ずつ設定できます。

CTがなくても電力計測できる機器があります。

対象機器(機種)は下記のホームページをご覧ください。

<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/hems>

- エネルギー計測ユニットが2台接続されている場合の操作方法（⇒57ページ）

## ■ 計測機能内蔵型分電盤(ホーム分電盤)の場合

- ホーム分電盤に付属する『施工ガイドブック』の「設計シート」などに従い、設定してください。

機器名	台数(最大)	
主幹	1	
太陽光発電	4	拡張計測ユニット
外部発電機(※1)	1	
蓄電池	1	
その他の機器(負荷)	40	
ガス(※2)	1	パルス計測ユニット
水道(※2)	1	

※1:外部発電機とは、家庭用燃料電池やエコウィルなどを指します。

※2:ガス・水道メーターは各1系統ずつ設定できます。

## ■ オムロンハイブリッド蓄電システムの場合

- メーカーの据付工事説明書などに従い、オムロンハイブリッド蓄電システムの設定をしてください。
- 『据付工事説明書詳細編』『ハイブリッド蓄電システム設定』に従い、情報収集ユニットの設定をしてください。
- 「オムロンハイブリッド蓄電システム」のみを設置される場合(エネルギー計測ユニットまたは計測機能内蔵型分電盤を設置しない場合)は、以下の作業は不要です。

1 プルダウンメニューをタップしてリストを表示し、「エネルギー計測機器の設定」をタップする

「エネルギー計測機器の設定」画面が表示されます。

- 接続されているエネルギー計測機器によって、設定画面が異なります。
- 別画面に移動する場合は、「登録」ボタンにて設定を完了するか、または、「入力クリア」ボタンを押してください。

[illegible]

## エネルギー計測機器の設定画面 (エネルギー計測ユニットの設定)

戻る

次へ

エネルギー計画機能の設定

▼

※この画面から、「[検索]」ボタンをクリックすると、検索結果が表示されます。

※本文では、「1」で検索する「検索」ボタンをクリックして検索してください。

**検索**

入力エリア

検索

**ホームから電気の設定へ**

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

検索結果

検索

## エネルギー計測機器の設定画面 (ホーム分電盤の設定)

※上図では黒枠部が異なります。



## <CTの設定方法>

### 1.「計測種別」を選択する

（エネルギー計測ユニットの設定）

設定項目	備考
「主幹」	CT1-1からCT4-2の間で設定してください。 ●「主幹」、「太陽光発電（CT2個）」、「外部発電機（CT1個）」および「蓄電池」はCTを2つ使用します。
「太陽光発電（CT1個）」	
「太陽光発電（CT2個）」	
「外部発電機（CT1個）」	
「外部発電機（CT2個）」	
「蓄電池」	CT1-1からCT8-2の間で設定してください。
「蓄電池負荷」	
「負荷」	

【ブレーカー設定】

CT	計測種別	分岐ブレーカー名	名称任意設定	相線式
1-1	主幹 ▼	主幹 ▼		単相3線 ▼
1-2	主幹 ▼	主幹 ▼		単相3線 ▼
2-1	▼	▼		▼
2-2	▼	▼		▼
3-1	太陽光発電（CT1個） ▼	太陽光発電 1 ▼		単相3線 ▼
3-2	▼	▼		▼
4-1	蓄電池 ▼	蓄電池 1 ▼		単相3線 ▼
4-2	蓄電池 ▼	蓄電池 1 ▼		単相3線 ▼
5-1	▼	▼		▼
5-2	▼	▼		▼
6-1	蓄電池負荷 ▼	蓄電池負荷 1 ▼		単相2線 ▼
6-2	▼	▼		▼
7-1	負荷 ▼	エアコン 1-CT ▼		単相2線 ▼
7-2	▼	▼		▼
8-1	▼	▼		▼
8-2	▼	▼		▼

（ホーム分電盤の設定）

設定項目	備考
「太陽光発電」	追加計測ユニット1から追加計測ユニット7、CH1からCH40の間で設定してください。
「外部発電機」	
「蓄電池」	
「系統」	

【ブレーカー設定】

計測チャンネル	計測種別	分岐ブレーカー名	名称任意設定
主幹	—	—	—
追加計測ユニット1	太陽光発電 ▼	太陽光発電 1 ▼	▼
追加計測ユニット2	外部発電機 ▼	外部発電機 2 ▼	▼
追加計測ユニット3	蓄電池 ▼	蓄電池 3 ▼	▼
追加計測ユニット4	系統 ▼	系統 4 ▼	▼
追加計測ユニット5	▼	▼	▼
追加計測ユニット6	太陽光発電 ▼	任意入力 ▼	ソーラー ▼
追加計測ユニット7	外部発電機 ▼	任意入力 ▼	燃料 ▼
CH1	▼	▼	▼
CH2	系統 ▼	CT-CH2 ▼	▼
CH3	系統 ▼	CT-CH3 ▼	▼
CH4	系統 ▼	任意入力 ▼	CH4 ▼
CH5	▼	▼	▼
▼	▼	▼	▼
▼	▼	▼	▼

### 2.「分岐ブレーカー名」を選択する

（エネルギー計測ユニットの設定）

計測種別	設定項目
「主幹」	「主幹」が自動で選ばれます。
「太陽光発電（CT1個）」	「太陽光発電1」～「太陽光発電4」、「発電機1」～「発電機4」から選んでください。
「太陽光発電（CT2個）」	
「外部発電機（CT1個）」	
「外部発電機（CT2個）」	「蓄電池1」～「蓄電池4」から選んでください。
蓄電池	
蓄電池負荷	「蓄電池負荷1」～「蓄電池負荷4」から選んでください。
負荷	系統、エアコン、エコキュート、エコヌクール、クッキングヒータ、冷蔵庫、テレビ、換気扇から選んでください。 系統および各機器は、1～10まで選択できます。

## (ホーム分電盤の設定)

計測種別	設定項目
「太陽光発電」	「太陽光発電○」が自動で選ばれます。
「外部発電機」	「外部発電機○」が自動で選ばれます。
「蓄電池」	「蓄電池○」が自動で選ばれます。
「系統」	分岐回路○、CT-CHO、リビングのエアコン、LDKのエアコン、寝室のエアコン、洋室1のエアコン、洋室2のエアコン、洋室3のエアコン、洋室4のエアコン、和室のエアコン、全館空調、エコキュート、IHクッキングヒーター、食洗機、屋外コンセント(200V)から選んでください。

※「CHO」となっている計測チャンネルには、「計測種別＝系統」「分岐ブレーカー名＝分岐回路○」が初期値として入力されています。

ただし、「設定」(⇒57ページ)をタップしないと、情報収集ユニットに設定情報が反映されません。

※「任意入力」を選択したときは、「名称任意設定」欄に名称を入力してください。(全角10文字以内)

※「分岐ブレーカー名」は、お客様が使用するアプリの「グラフ表示設定」に使用します。

実際の分電盤にラベルがある場合は、「分岐ブレーカー名」をラベルと合わせてください。

※お客様がアプリの「グラフ表示設定」でグラフに表示する名称を変更された場合は、「分岐ブレーカー名」の変更が反映されません。

### 3.「相線式」から「単相3線」または「単相2線」を選択する(エネルギー計測ユニットの設定のみ)

計測種別	設定項目
「主幹」	「単相3線」が自動で選ばれます。
「太陽光発電(CT1個)」	
「太陽光発電(CT2個)」	
「外部発電機(CT1個)」	
「外部発電機(CT2個)」	
蓄電池	「単相3線」「単相2線」から選んでください。 ●「単相3線」を選んだときは、CTを2つ使用します。 ●「単相2線」を選んだときは、CTを1つ使用します。
蓄電池負荷	
負荷	「単相2線」が自動で選ばれます。

### 4.「CT種別」から取り付けたCTを選択する(エネルギー計測ユニットの設定のみ)

計測種別	設定項目
「主幹」	「CT黒大」が自動で選ばれます。
「太陽光発電(CT1個)」	「CT黒大」「CT白」から選んでください。
「太陽光発電(CT2個)」	
「外部発電機(CT1個)」	
「外部発電機(CT2個)」	
蓄電池	
蓄電池負荷	「CT黒大」「CT白」「CT黒小」から選んでください。
負荷	

## 5. 「電圧」をブレーカーに応じて選択する

(エネルギー計測ユニットの設定)

計測種別	設定項目
「太陽光発電(CT1個)」 「外部発電機(CT1個)」	「200V」が自動で選ばれます。
「主幹」 「太陽光発電(CT2個)」 「外部発電機(CT2個)」	「L1-100V」「L2-100V」が自動で選ばれます。
蓄電池 蓄電池負荷	「単相2線」を選んだときは、「L1-100V」「L2-100V」から選んでください。 「単相3線」を選んだときは、「L1-100V」「L2-100V」が自動で選ばれます。
負荷	「L1-100V」「L2-100V」「200V」から選んでください。

(ホーム分電盤の設定)

計測チャンネル	設定項目
追加計測ユニット1~7	電圧は取得できません。「-」を表示します。
CH1~CH8	ホーム分電盤から取得した各CHの電圧を表示します。
CH9~CH40	100V固定です。「-」を表示します。

## 3 「ガス・水道メーター設定」欄で各項目を設定する

以下の項目について、プルダウンメニューから選択します。

(エネルギー計測ユニットの設定)

### ●使用状況： 使用／未使用

「使用」を選択している場合は、「流量( $l$  / パルス)」の値を入力してください。

### ●流量( $l$ / パルス)： 数値を入力します。

「流量( $l$  / パルス)」の値は、使用するメータの仕様を確認してください。

(ホーム分電盤の設定)

### ●使用状況： 未使用／系統1-1／系統1-2／系統2-1／系統2-2

「未使用」以外を選択している場合は、「流量( $l$  / パルス)」の値を入力してください。

ホーム分電盤では、一般的にガス：「系統1-2」、水道：「系統1-1」を選択します。実際に使用して確認してください。

### ●流量( $l$ / パルス)： 数値を入力します。

「流量( $l$  / パルス)」の値は、0.0001~99999の範囲で入力できます。

「ガス・水道メーター設定」欄で各項目を設定する

ガス・水道  
メーター設定

(ホーム分電盤の設定)



## 4 「設定」をタップする

確認メッセージが表示されるので、「OK」をタップします。

- 分岐ブレーカー名で重複した名称を設定したり、「任意入力」を選択して入力がない(空白やスペース)ときは、警告メッセージが表示されます。正しく設定してください。

(エネルギー計測ユニットの設定)

(ホーム分電盤の設定)

### エネルギー計測ユニットが2台接続されている場合

#### エネルギー計測ユニット (2台目) の設定を行う

- 「エネルギー計測ユニットの2台目の設定画面へ」をタップして、1台目と同様に設定してください。(→50～56ページ)
- 主幹、太陽光発電、発電機、蓄電池、蓄電池負荷は1台目のエネルギー計測ユニットに設定してください。

エネルギー計測ユニットの2台目の設定画面へ

## ②動作確認

- エネルギー計測ユニットでの動作確認を説明をします。ホーム分電盤でも同様に動作確認をしてください。詳しくは、ホーム分電盤の施工ガイドをご覧ください。
- ホーム分電盤で設置ツール上の瞬時値表示が太陽光発電パワコンの瞬時値表示の約半分になっている場合は、ホーム分電盤の拡張ユニットの「単相3線」「単相2線」の切換スイッチを確認してください。

### 1. CT接続の確認

以下の項目を点検してください。

不具合がありましたら、必ず直してください。（機能が発揮されません）

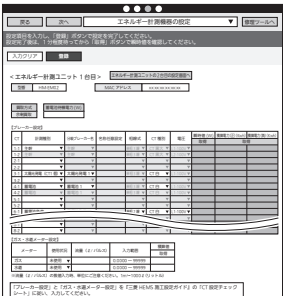
- ☐ 各機器が正常に動作していること
- ☐ 系統連系（逆潮流）可能であること

※系統連系不可能である場合には太陽光発電用ブレーカー操作を行わずエネルギー計測ユニットの据付工事説明書に従い、CT（太陽光発電用）の向きを目視で確認してください。

#### <瞬時値の符号について>

計測種別	瞬時値符号
主幹	買電中：正の値／売電中：負の値
発電機（太陽光など）	発電中：正の値
蓄電池	充電中：正の値／放電中：負の値
蓄電池負荷	動作中：正の値
負荷	動作中：正の値

#### ・設定例



- エネルギー計測ユニットのCTが正しく取り付けられているかを以下の方法で確認すること  
※太陽光発電システムが発電できる状態(日中の晴天時あるいは曇天時)で実施してください。

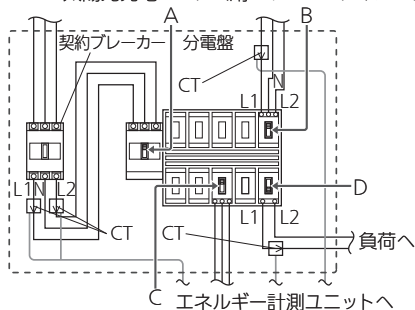
■ CT(主幹用)の取付を確認する場合

①各ブレーカーを以下のように設定する

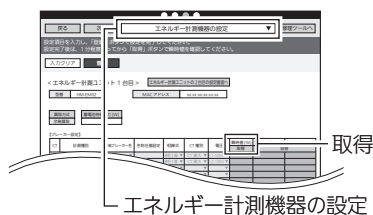
- A. 主電源漏電ブレーカー : ON  
主電源のため、ONで固定
- B. 太陽光発電用ブレーカー : OFF
- C. エネルギー計測ユニット用ブレーカー : ON  
CTの取付方向を確認するため、ONで固定
- D. 負荷用分岐ブレーカー(200V) : OFF  
※使用していない機器の電源をOFFにしてください。

(情報収集ユニットを除く)

太陽光発電システム用パワーコンディショナへ



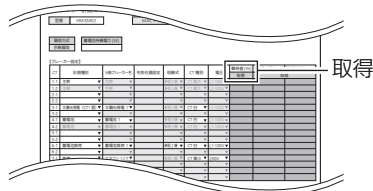
- ②「エネルギー計測機器の設定」をタップしてから約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする



- ③200Vの負荷用分岐ブレーカー(D)を ONにする

- ④負荷用分岐ブレーカー(D)に接続されている機器を運転する

- ⑤約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする



⑥瞬時値(単位：W)が条件を満たしているかどうかを確認する

※1：－(マイナス)の数値になった場合は、赤く表示されます。

+ 表示 → + 表示 (増加)

【ブレーカー設定】

CT	計測種別	分岐ブレーカー名	電圧	瞬時値 (W)
				取得
1-1	主幹 ▼	主幹 ...	L1-100V ▼	50
1-2	主幹 ▼	主幹 ...	L2-100V ▼	50
2-1	太陽光発電 (CT1 側) ▼	太陽光発電1 ...	L1-100V ▼	0
...		...	▼	
...		...	▼	
...		...	▼	

0 (固定)

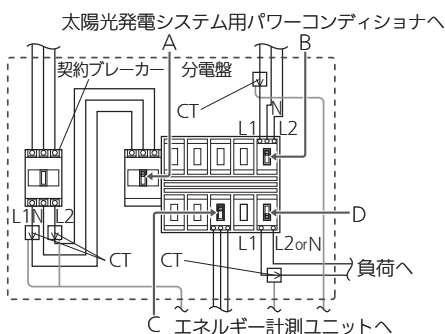
主幹がー(マイナス)表示となった場合

- ① CTの向きが間違っていないか確認してください。
- ② エネルギー計測ユニットとエネルギー計測ユニット用ブレーカー間の配電ケーブルのL1相接続とL2相接続を互い違いに接続していないか確認してください。
- ③ L1相接続用CTとL2相接続用CTを互い違いに接続していないか確認してください。
- ④ 太陽光発電用ブレーカーがOFFになっているか確認してください。
- ⑤ エネルギー計測ユニットの電源ケーブルのL1とL2が互い違いに接続をされていないか確認してください。分岐ブレーカーの種類、取付位置によって接続箇所のL1、N、L2の並び順は異なります。

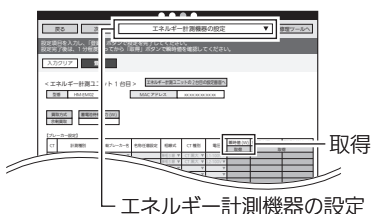
### ■ CT(負荷用)の取付を確認する場合

### ①各ブレーカーを以下のように設定する

- A. 主電源漏電ブレーカー : ON  
主電源のため、ONで固定
- B. 太陽光発電用ブレーカー : OFF
- C. エネルギー計測ユニット用ブレーカー : ON  
CTの取付方向を確認するため、  
ONで固定
- D. 負荷用分岐ブレーカー : OFF
- ※使用していない機器の電源をOFFにしてください。  
(情報収集ユニットを除く)

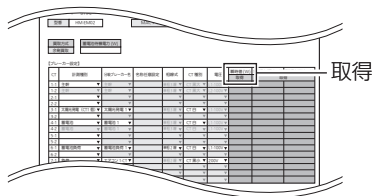


②「エネルギー計測機器の設定」をタップしてから約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする



- ④ 負荷用分岐ブレーカー (D) に接続されている機器を運転する

## ⑤約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする



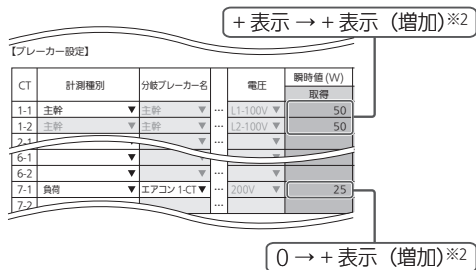
## ⑥瞬時値(単位：W)が条件を満たしているかどうかを確認する

※1：－(マイナス)の数値になった場合は、赤く表示されます。

※2：同じ電力値分だけ増加します。

②～⑥の変化幅は主幹と負荷量とも同じです

※3：負荷(单相2線)の瞬時値には－(マイナス)の数値は表示されません。



## ■ CT(太陽光発電・発電機用)を1個接続したときの取付を確認する場合

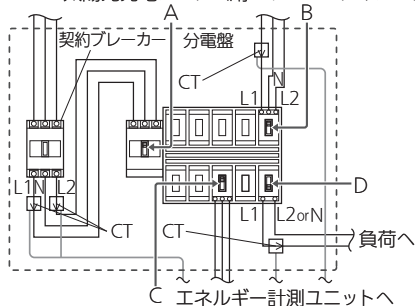
### ①各ブレーカーを以下のように設定する

- A. 主電源漏電ブレーカー : ON  
主電源のため、ONで固定
- B. 太陽光発電(発電機)用ブレーカー : OFF
- C. エネルギー計測ユニット用ブレーカー : ON  
CTの取付方向を確認するため、ONで固定
- D. 負荷用分岐ブレーカー : OFF

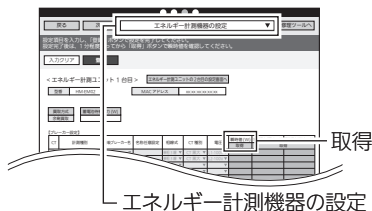
※使用していない機器の電源をOFFにしてください。

(情報収集ユニットを除く)

太陽光発電システム用パワーコンディショナへ



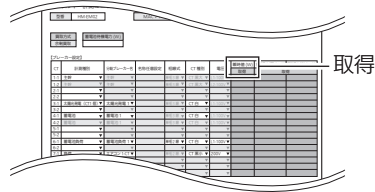
### ②「エネルギー計測機器の設定」をタップしてから約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする



## ③太陽光発電(発電機)用ブレーカーをONにする

太陽光発電システム(発電機)が発電を開始していることを確認してください。

## ④約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする



## ⑤瞬時値(単位: W)が条件を満たしているかどうかを確認する

※1: -(マイナス)の数値になった場合は、赤く表示されます。

※2: エネルギー計測ユニット(主幹)の-(マイナス)は、エネルギー計測ユニット(太陽光発電)の電力値以上にマイナスになることはありません。

【ブレーカー設定】

CT	計測種別	分岐ブレーカー名	電圧	瞬時値(W)
1-1	主幹	主幹	L1-100V V	-75
1-2	主幹	主幹	L2-100V V	-75
2-1	太陽光発電 (CT1個)	太陽光発電 1	L1-100V V	200
2-2				

瞬時値(W)取得  
+表示 → +表示 (減少) または -表示 (売電)  
0 → +表示

画面例) 太陽光発電の場合

## 太陽光発電(発電機)が-(マイナス)表示となった場合

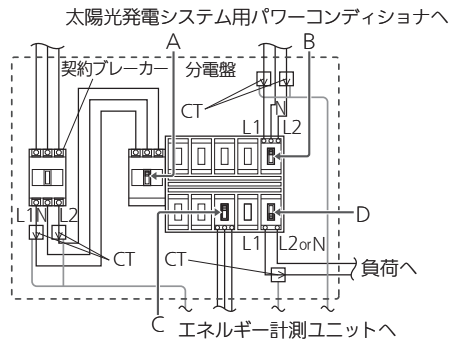
- ① CTの向きが間違っていないか確認してください。
- ② L1相接続用CTを間違えてL2相接続用に取り付けていないか確認してください。

## ■ CT(太陽光発電・発電機用)を2個接続したときの取付を確認する場合

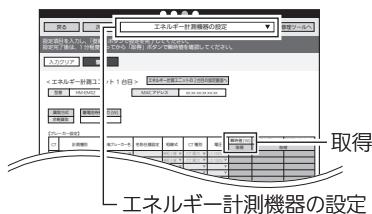
### ①各ブレーカーを以下のように設定する

- A. 主電源漏電ブレーカー : ON  
主電源のため、ONで固定
  - B. 太陽光発電(発電機)用ブレーカー : OFF
  - C. エネルギー計測ユニット用ブレーカー : ON  
CTの取付方向を確認するため、ONで固定
  - D. 負荷用分岐ブレーカー : OFF
- ※使用していない機器の電源をOFFにしてください。

(情報収集ユニットを除く)



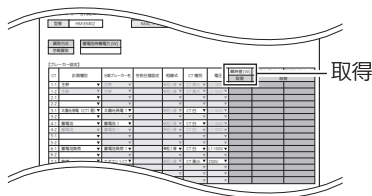
- ②「エネルギー計測機器の設定」をタップしてから約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする



- ③太陽光発電(発電機)用ブレーカーをONにする

太陽光発電システム(発電機)が発電を開始していることを確認してください。

- ④約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする



- ⑤瞬時値(単位：W)が条件を満たしているかどうかを確認する

※1：－(マイナス)の数値になった場合は、赤く表示されます。

※2：エネルギー計測ユニット(主幹)の－(マイナス)は、エネルギー計測ユニット(太陽光発電)の電力値以上にマイナスになることはありません。

＋表示 → ＋表示(減少) または  
－表示(売電)

【ブレーカー設定】

CT	計測種別	分岐ブレーカー名	電圧	瞬時値(W) 取得
1-1	主幹	主幹	L1-100V	-75
1-2	主幹	主幹	L2-100V	-75
2-1	太陽光発電 (CT1 個)	太陽光発電 1	L1-100V	200
2-2	太陽光発電 (CT1 個)	太陽光発電 1	L2-100V	200

0 → ＋表示

画面例) 太陽光発電の場合

太陽光発電(発電機)が－(マイナス)表示となった場合

- ① CTの向きが間違っていないか確認してください。
- ② L1相接続用CTとL2相接続用CTを互い違いに接続していないか確認してください。

## 2. ガス・水道メーターの動作確認

### ① ガス・水道の使用量を確認する

【ガス・水道メーター確認】			
メーター	使用状況	消費量 / パルス	入力範囲
ガス	使用	10	0.0001 ~ 99999
水道	使用	1	0.0001 ~ 99999

### ② 「積算値」欄の「取得」をタップする

【ガス・水道メーター確認】			
メーター	使用状況	消費量 / パルス	入力範囲
ガス	使用	10	0.0001 ~ 99999
水道	使用	1	0.0001 ~ 99999

取得

### ③ 水道から水を出す／ガスを使用する

### ④ 約 1 分後、「積算値」欄の「取得」をタップする

【ガス・水道メーター確認】			
メーター	使用状況	消費量 / パルス	入力範囲
ガス	使用	10	0.0001 ~ 99999
水道	使用	1	0.0001 ~ 99999

取得

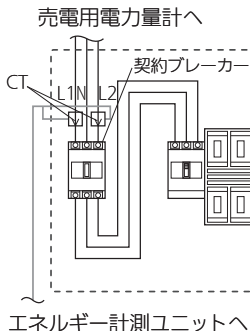
### ⑤ 「流量 L / パルス」が条件を満たしているかどうかを確認する 使用している分だけ増加します。

【ガス・水道メーター確認】			
メーター	使用状況	消費量 / パルス	入力範囲
ガス	使用	10	0.0001 ~ 99999
水道	使用	1	0.0001 ~ 99999

## 全量買取の場合のCT取付について

全量買取の場合は必ず以下に従ってCTの取り付け、および施工を行ってください。

- 全量買取でご使用の場合は、対応した情報収集ユニットのバージョンをお使いください。情報収集ユニットのバージョン「001.001.100」以降が対応しております。バージョンの末尾の数字が「100」以降であることをご確認ください。
- 全量買取でご使用の場合は、売電メーター系統と買電メーター系統が同一トランス配下の系統であることをご確認ください。系統が異なる場合は、売電メーター系統用のエネルギー計測ユニットと買電メーター系統用のエネルギー計測ユニットの2台を設置する必要があります。その場合は、売電メーター系統用のエネルギー計測ユニットには、太陽光発電の電力計測以外には使わないでください。
- 本製品を全量買取でご使用の場合は、全量買取制度に従った施工をしてください。



- CTが2個の場合は、L1/L2にそれぞれ同様にCTを取付けてください。



## エネマネ設定

主幹の積算電力量・瞬時電力の取得先を選択します。

太陽光発電、蓄電池、および外部発電機の電力取得先を重複がないように選択します。

【太陽光発電の測定】、【蓄電池の測定】、【外部発電機の測定】については、三菱HEMS対応機種は機器接続時にチェックマーク有(計測する)となっています。

一方で、三菱HEMS非対応機種はチェックマーク(計測しない)となっていますので、重複や不足がないようにチェックマークを入れ直してください。

三菱HEMS対応機種は下記のホームページをご覧ください。

<http://www.mitsubishielectric.co.jp/home/hems/product/pdf/hm-adapter-03.pdf>

### 1 「次へ」ボタンで本画面に移動するか、プルダウンメニューをタップしてリストを表示し、「エネマネ設定」をタップする

「エネマネ設定」画面が表示されます。

エネマネ設定画面

### 2 測定に使用する機器を選択する

- 接続されている機器が表示されていることを確認してください。

主幹(積算値)の測定

主幹(瞬時値)の測定

太陽光発電の測定

蓄電池の測定

外部発電機の測定

### 1.【主幹(積算値)の測定】をする機器を選択する

表示されている機器から、いずれか1つを選択してください。

「自動」を選択した場合は、以下の優先度(上から優先度高)で選択されます。

優先度	機器
1	スマートメーター
2	太陽光発電システム
3	ハイブリッド蓄電システム(※オムロン製)
4	エネルギー計測ユニット
5	ホーム分電盤
6	EV用パワコン
7	蓄電ハイブリッドシステム(※田淵電機製)

### 2.【主幹(瞬時値)の測定】をする機器を選択する

表示されている機器から、いずれか1つを選択してください。

「自動」を選択した場合は、以下の優先度(上から優先度高)で選択されます。

優先度	機器
1	EV用パワコン
2	太陽光発電システム
3	ハイブリッド蓄電システム(※オムロン製)
4	エネルギー計測ユニット
5	ホーム分電盤
6	スマートメーター
7	蓄電ハイブリッドシステム(※田淵電機製)

### 3.【太陽光発電の測定】をする機器を選択する

表示されている機器から、エネマネグラフに表示したい機器を、重複や漏れが無いよう選択してください。

EV用パワコンが設置される場合や、複数の計測機器が併設される場合は、重複計測にご注意ください。

複数の太陽光パワコンが設置される場合は、計測漏れにご注意ください。

初期設定	機器
計測する	太陽光発電システム
計測する	ハイブリッド蓄電システム(※オムロン製)
計測する	エネルギー計測ユニット
計測する	ホーム分電盤
計測する	EV用パワコン
計測する	蓄電ハイブリッドシステム(※田淵電機製)

#### 4.【蓄電池の測定】をする機器を選択する

表示されている機器から、エネマネグラフに表示したい機器を、重複や漏れが無いよう選択してください。

初期設定	機器
計測する	太陽光発電システム
計測する	エネルギー計測ユニット
計測する	ホーム分電盤
計測する	蓄電ハイブリッドシステム(※田淵電機製)
計測する	ハイブリッド蓄電システム(※オムロン製)
計測しない	蓄電池n(※オムロン製)

nは数字を表す。

#### 5.【外部発電機の測定】をする機器を選択する

表示されている機器から、エネマネグラフに表示したい機器を、重複や漏れが無いよう選択してください。

初期設定	機器
計測する	太陽光発電システム
計測する	ハイブリッド蓄電システム(※オムロン製)
計測する	エネルギー計測ユニット
計測する	ホーム分電盤
計測する	家庭用燃料電池n(※ノーリツ製)

nは数字を表す。

### 3 「設定」ボタンをタップする

主幹の積算電力量・瞬時電力の取得先が設定されます。

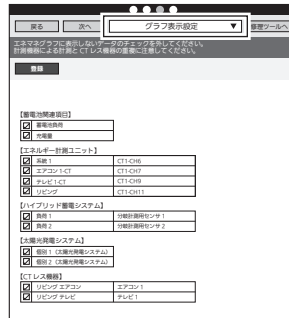
登録

## グラフ表示設定

お客様が使用するアプリのエネマネグラフの設定状況を確認します。

- 1 「次へ」ボタンで本画面に移動するか、プルダウンメニューをタップしてリストを表示し、「グラフ表示設定」をタップする

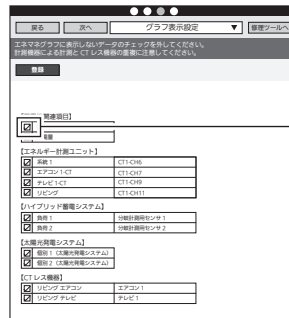
「グラフ表示設定」画面が表示されます。



グラフ表示設定画面

- 2 グラフ表示をしない機器のチェックボックスを□にする

機器が重複しないように選択してください。

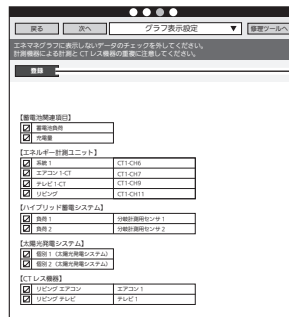


チェック  
ボックス

- 3 「設定」をタップする

グラフ表示の設定が有効になります。

- グラフ表示設定は、お客様が使用するアプリのエネマネ表示および、書き出しデータの時間単位集計データに反映されます。



登録



# 引|渡確認

## リセット設定

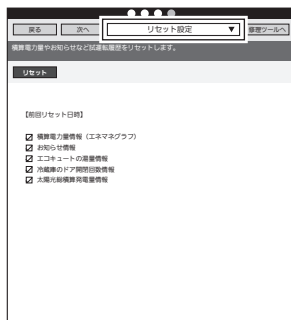
お客様へ引き渡す前に設置工事で積算された電力量とお知らせをリセットします。

- 次の情報がリセットされます。

積算電力量/お知らせ/エコキュートの湯量/冷蔵庫のドア開閉回数/太陽光総積算発電量

- 1 「次へ」ボタンで本画面に移動するか、プルダウンメニューをタップしてリストを表示し、「リセット設定」をタップする

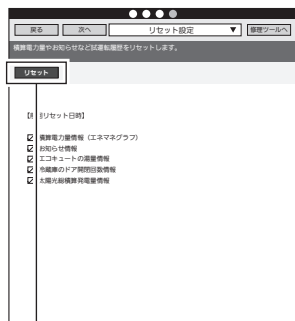
「リセット設定」画面が表示されます。



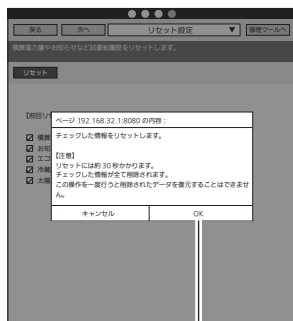
リセット設定画面

- 2 リセットする情報のチェックボックスにチェックを入れて、「リセット」をタップする

確認メッセージが表示されますので、「OK」をタップします。



リセット

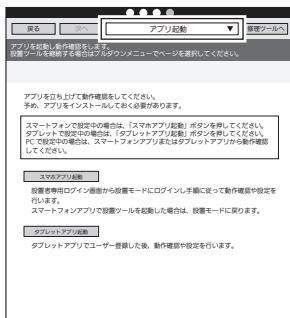


OK

## アプリ起動

初期設定が全て完了したら「三菱HEMS」アプリを起動し、動作確認を行います。

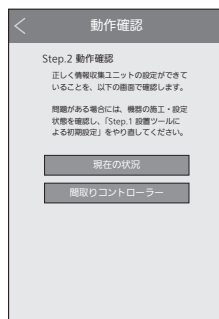
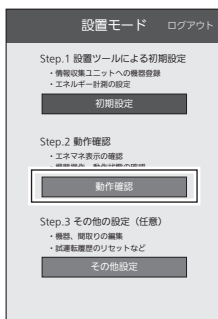
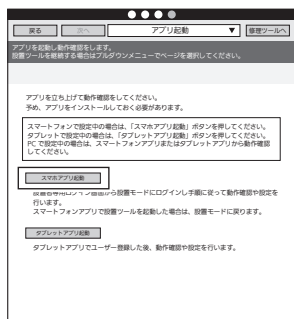
- 1 「次へ」ボタンで本画面に移動するか、プルダウンメニューをタップしてリストを表示し、「アプリ起動」をタップする  
「アプリ起動」画面が表示されます。



アプリ起動画面

- 2 「スマホアプリ起動」または「タブレットアプリ起動」をタップする

スマートフォンアプリで設置ツールを起動していた場合は、「スマホアプリ起動」をタップすると「設置モード」画面に戻りますので「動作確認」をタップし、動作確認画面に進みます。「現在の状況」をタップするとエネマネ画面の「現在の状況」が、「間取りコントローラー」をタップすると間取りコントローラー画面が表示されますので動作確認を行ってください。

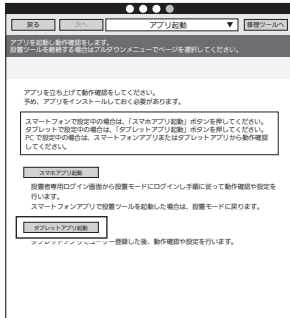


「スマホアプリ起動」をタップした場合

タブレットアプリをインストール済みの端末で設置ツールにログインしていた場合、「タブレットアプリ起動」をタップすると、タブレットアプリが起動します。

取扱説明書(初期設定編)にて、ユーザー登録を実施後、動作確認してください。

あらかじめユーザー様にID、パスワードを決めて頂いていると作業がスムーズになります。



「タブレットアプリ起動」をタップした場合

### おしらせ

● パソコンで設定中の場合は、スマートフォンアプリまたはタブレットアプリから動作確認してください。



## 据付後の確認

☐の中に✓印をいれて確認してください。確認後、この据付工事説明書をお客様にお渡しください。

☐ 据付後にタブレット端末またはパソコンと情報収集ユニットのWi-Fi接続を切断しましたか？

※お客様の情報収集ユニットに接続できなくなることを確認してください。

☐ お客様への説明

- ・別冊の取扱説明書に従って、正しい使い方をお客様にご説明してください。
- ・製品に同梱している保証書も必ずお客様へお渡しください。

# その他の設定

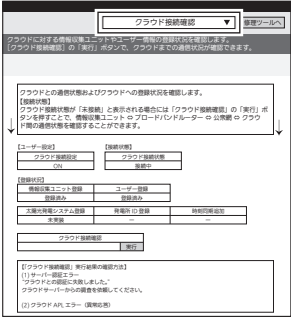
## クラウド接続確認

クラウドへの登録状況および通信状態を確認します。

### 1 プルダウンメニューをタップして リストを表示し、「クラウド接続確認」 をタップする

「クラウド接続確認」画面が表示されます。

- クラウド接続状態が「未接続」と表示される場合は、クラウド接続確認の「実行」をタップしてください。  
クラウドとの通信状態を確認することができます。



クラウド接続確認画面

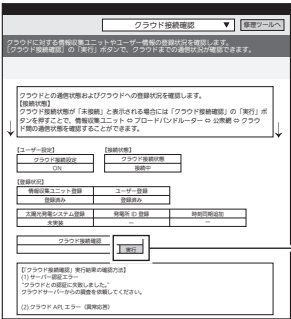
	項目	内容
ユーザー設定	クラウド接続設定	ON/OFF
接続状態	クラウド接続状態	接続中/未接続(※1)
登録状況	情報収集ユニット登録	登録済み/未登録(※1)
	ユーザー登録	登録済み/未登録(※1)
	太陽光発電システム登録	未実装/登録/未登録
	発電所ID登録	－/登録/未登録
	時刻同期	－/同期/非同期

※1： 情報収集ユニットとクラウドとを接続し、お客様のタブレットでユーザー登録を完了すると、「クラウド接続状態」は「接続中」、「情報収集ユニット登録」と「ユーザー登録」は「登録済み」となります。

### 2 「実行」をタップする

クラウドとの通信状態を確認することができます。

- クラウド接続状態が「未接続」と表示される場合に行くとクラウドとの通信状態を確認できます。



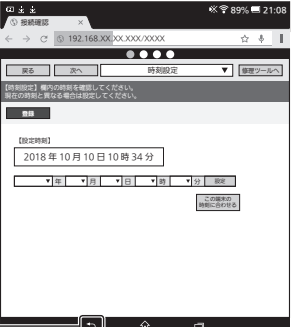

実行

項目	内容
クラウド接続確認	クラウド接続は正常に動作しています。(※2)

※2： 接続エラーになった場合の表示(➡77ページ)

## こんなときは

症状	原因・処置
タブレット端末またはパソコンを操作できない	①タブレット端末またはパソコンの電源を入れ直してください。
タブレット端末またはパソコンの電源がすぐに切れる	①十分に充電してありますか？ 十分に充電してから使用してください。
設置ツールのログイン画面が開かない	①URLが正しく入力されていますか？ URLを正しく入力してください。(→26ページ) ②IPアドレスが取得できていますか？ IPアドレスが192.168.32.100以降に割り当てられているか確認してください。 ③プロキシ設定がOFFになっていますか？ http://192.168.32.1:8080/set/login にアクセスできる設定が確認してください。 ④情報収集ユニットの電源が入っていますか？ 情報収集ユニットの電源が入っているか確認してください。 ※①～④の処置をしても改善されない場合は、情報収集ユニットの再起動スイッチを押して再起動してから確認してください。 再起動したときは、操作する前に再度、時刻設定を行ってください。(→30ページ)
ログインできない	①ログインID・パスワードは正しく入力されていますか？ 半角英数字または記号(英字は大文字／小文字)が正しいか確認し、再度入力してください。(→24ページ)
情報収集ユニットの電源を入れ直しても、機器を認識しない	①各機器を認識するまでに20分程度かかる場合があります。
情報収集ユニットの回線状況ランプが赤点灯になる	①ネットワークでループ障害が発生している可能性があります。 情報収集ユニットのWAN/LANポートの配線をご確認ください。 配線を直した場合は、情報収集ユニットの再起動スイッチを押して再起動してください。

症状	原因・処置
画面の表示が切り替わらない	<p>①通信する電波強度が不安定、または不十分になっている場合があります。 機器間の障害物を取り除くか、距離が離れすぎているか確認してください。</p> <p>②通信が混み合っています。 タブレット端末の戻るボタン(🏠)をタップしてから、もう一度確認してください。</p>  <p>戻る — </p> <p>※①の処置をしても改善されない場合は、情報収集ユニットの再起動スイッチを押して再起動してから確認してください。 再起動したときは、操作する前に再度、時刻設定を行ってください。(➡30ページ)</p>
移設後や屋内配置変更後に通信が途切れる、または通信できない	<p>①通信する電波強度が不安定、または不十分になっている場合があります。 機器間の障害物を取り除くか、距離が離れすぎているか確認してください。</p>
タブレット端末と情報収集ユニットの据付予定場所での電波が弱い(アンテナマークの本数が少ない)	<p>①電波強度が弱い場合は、据付予定場所を変更してから、もう一度アンテナマークを確認してください。</p> <p>②距離が離れすぎではありませんか？ タブレット端末と情報収集ユニットの間に障害物が存在していませんか？ 機器間の障害物を取り除くか、距離が離れすぎているか確認してください。</p>
WPSを行ったあと、無線LANアダプターのランプ1が消灯している	<p>①無線アダプタが正しく接続されていない場合があります。 無線LANアダプターのRESETボタンを2秒ほど押して再起動し、再度、機器の接続/登録を行ってください。 (➡38～45ページ)</p>

症状	原因・処置
「機器接続登録」の【情報収集ユニット登録機器】に接続した機器が表示されない	<p>①接続した機器が表示されるまでに1分半程度かかることがあります。</p> <p>しばらく時間を置いてから、「取得」ボタンをタップしてください。 (→45ページ)</p>
「機器接続登録」の【情報収集ユニット登録機器】の「動作状態」欄に「通信異常」と表示される。	<p>①RSSIの数値が正常な値ですか？</p> <p>無線LAN接続機器については、「機器接続確認」でRSSI/PERの測定を行い、RSSIの数値が緑色(−75dBm以上)であることを確認してください。(→47～48ページ)</p> <p>②情報収集ユニットとの通信ができていますか？</p> <p>有線LAN接続機器については、機器の有線LANアダプターと情報収集ユニットを接続しているLANケーブルに抜けや異常が無いか確認してください。</p>
<p>「エネルギー計測機器の設定」画面で以下の現象が発生する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●電力消費量の数値がおかしい</li> <li>●発電電力量がゼロから変化しない</li> </ul>	<p>①エネルギー計測ユニットのCT(電流センサー)が正しく取り付けられていますか？</p> <p>エネルギー計測ユニットの据付工事説明書を見て、CTのクランプがしっかりとロックされているか確認してください。</p> <p>②エネルギー計測ユニットのCT(電流センサー)の取付位置や極性が間違っていないですか？</p> <p>エネルギー計測ユニットの据付工事説明書を見て、正しい位置・極性になっているか確認してください。</p> <p>③エネルギー計測ユニットと情報収集ユニットとの通信ができていますか？</p> <p>通信ができていないときは、電力の瞬時値が変化しません。</p>
<p>「クラウド接続確認」で以下の内容が表示される</p> <p>「クラウドとの認証に失敗しました。」</p> <p>「クラウドから異常応答が返ってきました。」</p> <p>「クラウド・公衆網の間でエラーが発生しました。」</p>	<p>①情報収集ユニットの日付・時刻が正しく設定されていますか？</p> <p>正しい日付・時刻を設定してください。(→30ページ)</p> <p>②クラウドのメンテナンスが行われている場合があります。</p> <p>症状発生時刻のクラウドメンテナンス情報を確認してください。</p>

症状	原因・処置
<p>「クラウド接続確認」で以下の内容が表示される 「ブロードバンドルーターと公衆網間でエラーが発生しました。」</p>	<p>①インターネットに接続できるよう、ネットワーク事業者との契約がされていますか？</p> <p>②ブロードバンドルーターとインターネットが正しく接続されていますか？ ブロードバンドルーターとインターネットが接続されていることと、ブロードバンドルーターの設定を確認してください。</p> <p>③症状が改善されない場合には、ネットワーク事業者に調査を依頼してください。</p>
<p>「クラウド接続確認」で以下の内容が表示される 「情報収集ユニットとブロードバンドルーター間でエラーが発生しました。」</p>	<p>①情報収集ユニットとブロードバンドルーターとは正しく接続されていますか？ 情報収集ユニットとブロードバンドルーターとが接続されていることを確認してください。 ブロードバンドルーターと接続しているLANケーブルが情報収集ユニットのLANポートに接続されていた場合は、WANポートに接続してください。</p> <p>②DHCPサーバーは起動されていますか？ ブロードバンドルーターの設定を確認してください。</p>
<p>設置ツールの「WPS実行」をタップ後に無線LANアダプターの「WPS」ボタンを押しても、無線LANの登録ができない</p>	<p>①同一のWPS実行期間に2台以上実施した場合に、エラーが発生してWPSができなくなる場合があります。 タブレット/スマートフォンによっては、WPSの信号を出し続けている場合があります。タブレットから設置ツールの「WPS実行」をタップして当該症状に陥ることがあります。 このようなときは、設置ツールの「WPS実行」を使用せず、情報収集ユニット背面の「WPS」ボタンで無線LANの登録を行ってください。 タブレット/スマートフォンの電源をOFFにし、情報収集ユニットを再起動します。情報収集ユニットのオプション1ランプが点滅したら、タブレット/スマートフォンの電源はOFFのまま、情報収集ユニット背面の「WPS」ボタンを押して無線LANの登録を行ってください。</p>

## 仕様

### エネルギーデータ取得仕様

- 積算エネルギーデータ取得間隔：30分周期
- 積算エネルギーデータ保存期間：
  - 時間単位・・・63日分（ただし、ガス・水道使用量 48時間分）
  - 日単位・・・24か月分（ただし、ガス・水道使用量 13か月分）
  - 月単位・・・20年分（ただし、ガス・水道使用量 13か月分）

※取得可能なデータは、消費電力、発電量、ガス・水道使用量です。データ取得には、計測機器、センサー等が必要です。販売店にご確認ください。

### 情報収集ユニットー各機器間通信仕様

- ECHONET Lite(エコネットライト)規格準拠

**三菱電機株式会社** 京都製作所  
〒617-8550 京都府長岡京市馬場岡所 1 番地



XZS-007

872C684E10